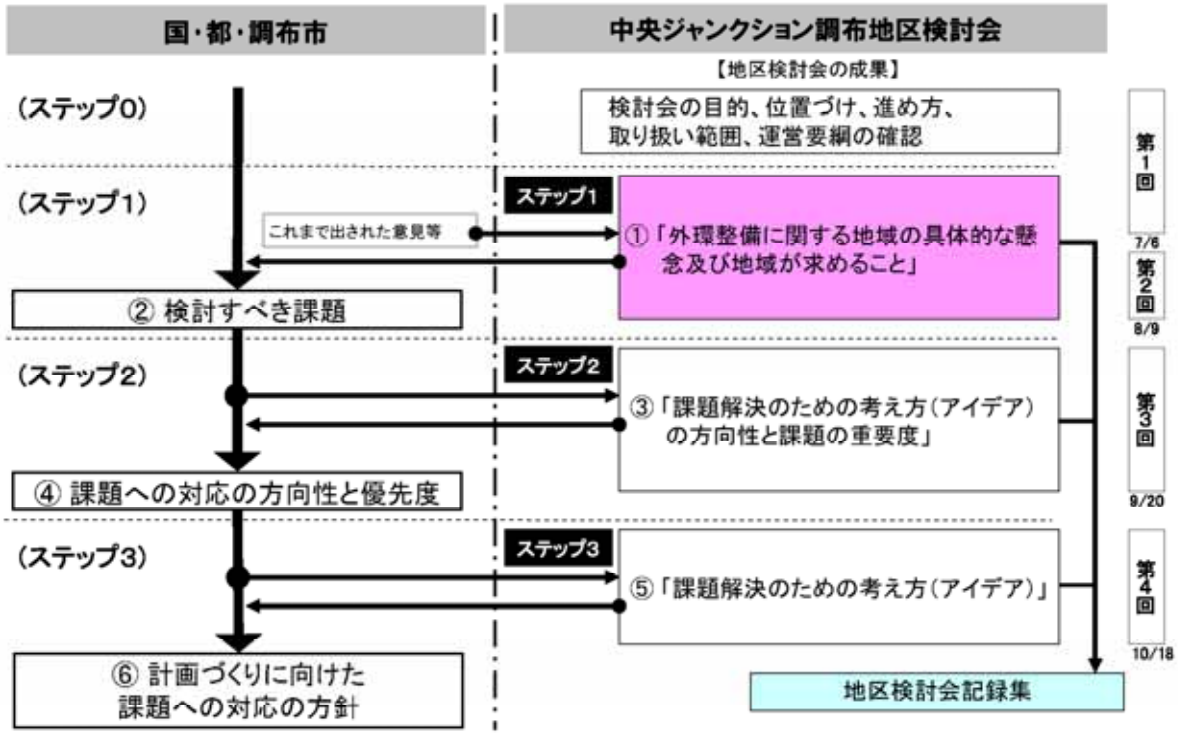
第２章　地区検討会における
とりまとめ資料

(1) ステップ 1

【検討会運営事務局】

外環整備に関する地域の具体的な懸念及び地域が求めること



中央ジャンクション調布地区検討会

外環整備に関する地域の具体的な懸念及び地域が求めること

【本資料について】
・本資料は、中央ジャンクション調布地区検討会において、ステップ１（第１回～第２回）でのメンバーの議論の成果となります。
・地区検討会では、第１回～第２回にわたり、グループごとに、外環計画が具体化するとしたら地域にとってどのような問題が懸念されるか、地域が求めることは何かについて、現地見学会を通じて現地を確認しイメージを共有したうえで話し合ってきました。

中央ジャンクション調布地区検討会　運営事務局

Aグループ[1/3] 場所を特定できる意見

■換気所

大気汚染による影響への懸念 環境

・検討会で説明された資料にある、換気所の影響のデータは、平均値で示されていたが、天候や風向きにより数値にはばらつきがあると予想される。特異な例も示してほしい。
・この地域だけが換気所からの排出ガスによる大気汚染のリスクを負うのは不公平である。リスクを分散させるためにも、換気所を分散させることはできないか。
・周辺に三鷹市の下水処理場があり、普段は特に臭わないが、天候などの条件によって臭う日もある。換気所も同様に、普段は大丈夫でも風向きや風力、気温などの条件によっては、周辺への影響が大きい場合があるのではないかが心配である。平均値だけでなく、極端な状況下での窒素・二酸化炭素の濃度、光化学スモッグの発生、それらによる人体への影響に関する情報を示してほしい。

換気所の高さや機能に関する懸念

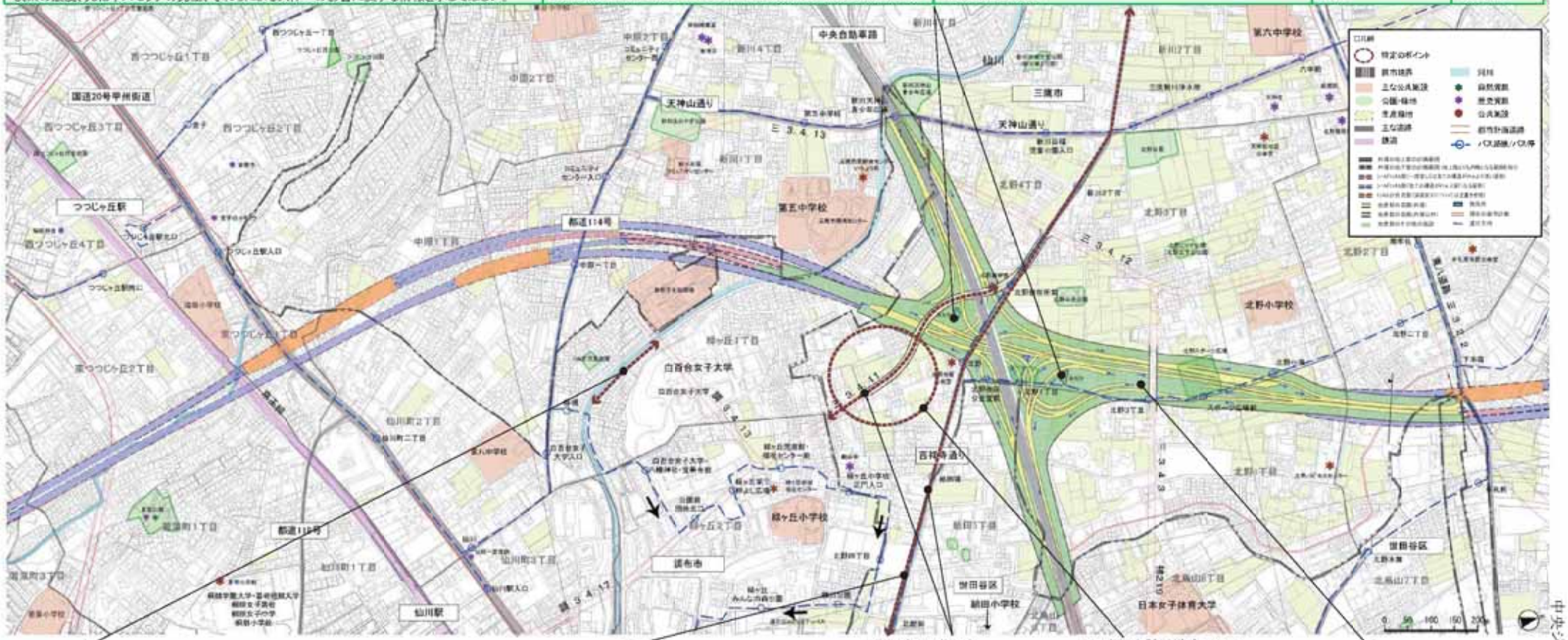
・外環を通る自動車の排出ガス、粉塵などを換気所で浄化するとのことだが、換気所の高さが15mと低いため、健康への害が心配である。
・換気所の高さが低いため、周辺への影響がないように排気できるのかという懸念がある。換気所の高さを15mに設定した根拠を、30m、45mなどの異なる高さの場合と比較して示してほしい。
・換気所が予想していたよりも低いため、排出ガスを十分に浄化ができるかという懸念がある。中央JCT地上部に関しては、換気の対策がなく、周辺地域に排出ガスがそのまま排出されるのではないかと懸念している。蓋をかける部分を増やす、ドーム型にするなどの対策を考えるべきではないか。
・換気所の高さが、予想していたよりも低かったため、周辺への影響がないように排気できるのかという懸念がある。換気所の高さが低くても、十分な排気が可能であることを示してほしい。また、停電などの緊急時に除塵装置が作動しないことも考えられるので、不安がある。その場合の対処はどうなるのか、運転用の電源はどう確保されているのか説明してほしい。
・換気所が、中央自動車道の照明の高さよりも低い計画となっているが、十分な排気機能を確保できるのかという懸念がある。可能な限り換気所からの排出ガスを浄化できる除じん装置を設置してほしい。
・換気所の高さは、電波障害を防ぐために15mに設定したとのことだが、2011年に地上デジタル放送に移行すれば、その心配はなくなるのではないか。もっと高い方が周辺への影響が少なくなるなら、電波障害や景観より、大気の浄化を優先してほしい。 環境

他施設も含めた大気汚染による影響への懸念 環境

・換気所からの排出ガスは、基準値以下であるとのことだが、近くにはゴミ焼却場もあり、これと二重になると影響が大きくなるのではないかと心配している。夏に窓を開けられなくなる生活にはなりたくない。

低周波による影響への懸念 環境

・換気所で発生する低周波による健康に与える影響を懸念している。換気所が低いとより影響があるのではないか。



■中央環状の道

工事中の交通・安全に関する懸念 工事

・中央環状の道は、道幅が狭い上、現在でも交通量が多い。工事中は更に交通量が増えて道路の混雑や歩行の安全が心配である。

■吉祥寺通り

道路機能の確保に関する懸念 交通

・外環完成後も、工事中も、吉祥寺通りの機能が維持できるように計画を進めてほしい。中央JCT上に吉祥寺通りを高架にする検討もしてはどうか。

吉祥寺通りの分断による生活不便への懸念 環境

・吉祥寺通りが分断されることにより、日常生活が不便になるのではないかという懸念がある。三鷹都市計画道路3・4・11は、外環ができあがったときに、同時に開通する必要がある。三鷹都市計画道路3・4・11を整備し、吉祥寺方面に通じる機能を確保してほしい。
・吉祥寺通りが分断されることにより日常生活が不便になるのではないかという懸念がある。三鷹都市計画道路3・4・11は、用地の買収などの関係で容易に事業が進まない可能性もあるので、三鷹都市計画道路3・4・11の整備と共に、環境施設帯を利用して、吉祥寺通りにつなげてほしい。

吉祥寺通りの分断による生活不便への懸念 工事

・工事中に吉祥寺通りが分断されることにより日常生活が不便になるのではないかという懸念がある。迂回路をつくる際に、吉祥寺方面に通じる機能を確保してほしい。

■吉祥寺通りおよび三鷹都市計画道路 3・4・11

都市計画道路の整備に関する懸念 交通

・吉祥寺通りの機能を確保することは重要だが、三鷹都市計画道路3・4・11は、用地を取得できる保証はないので、完成までに時間がかかると予想される。住宅の少ない場所で、三鷹都市計画道路3・4・11を吉祥寺通りにつなげた方が現実的ではないか。

■三鷹都市計画道路 3・4・11 周辺地域

周辺道路への車の流入に関する懸念 交通

・吉祥寺通りの分断により、周辺へ車が流入するのではないか。これを防ぐために、三鷹都市計画道路3・4・11は、外環工事前、工事中、最終と段階的に整備するように計画してほしい。

■中央 JCT 地上部

中央JCT地上部から出る排出ガスの影響への懸念 環境

・地上へ向かうランプにおいて、自動車から排出されるガスの有害物質も気になる。最大限除去してほしい。
・渋滞した車から出る排出ガスによる大気への影響が心配なので、ICや中央JCTで渋滞が起きないように、ランプに十分な車線数を確保してほしい。また、渋滞が発生した場合でも、排出ガスが周辺に流れないように、地上部(中央JCT内の黄色い部分)に蓋をかけてほしい。

Aグループ[2/3] 場所を特定できる意見

■三日月地域の仙川沿いの道路

地域分断に関する懸念 まち
・仙川沿いの道路、中央自動車道の側道などの日常的に利用している道路がなくなるのではないかと懸念している。公表されている平面図では、わからない。
・三日月地域内で車利用の道路として使われている仙川沿いの道路が通行できなくなるのではないかと懸念している。地区内には他に代替路できる道はないので、この道路の機能を確保してほしい。

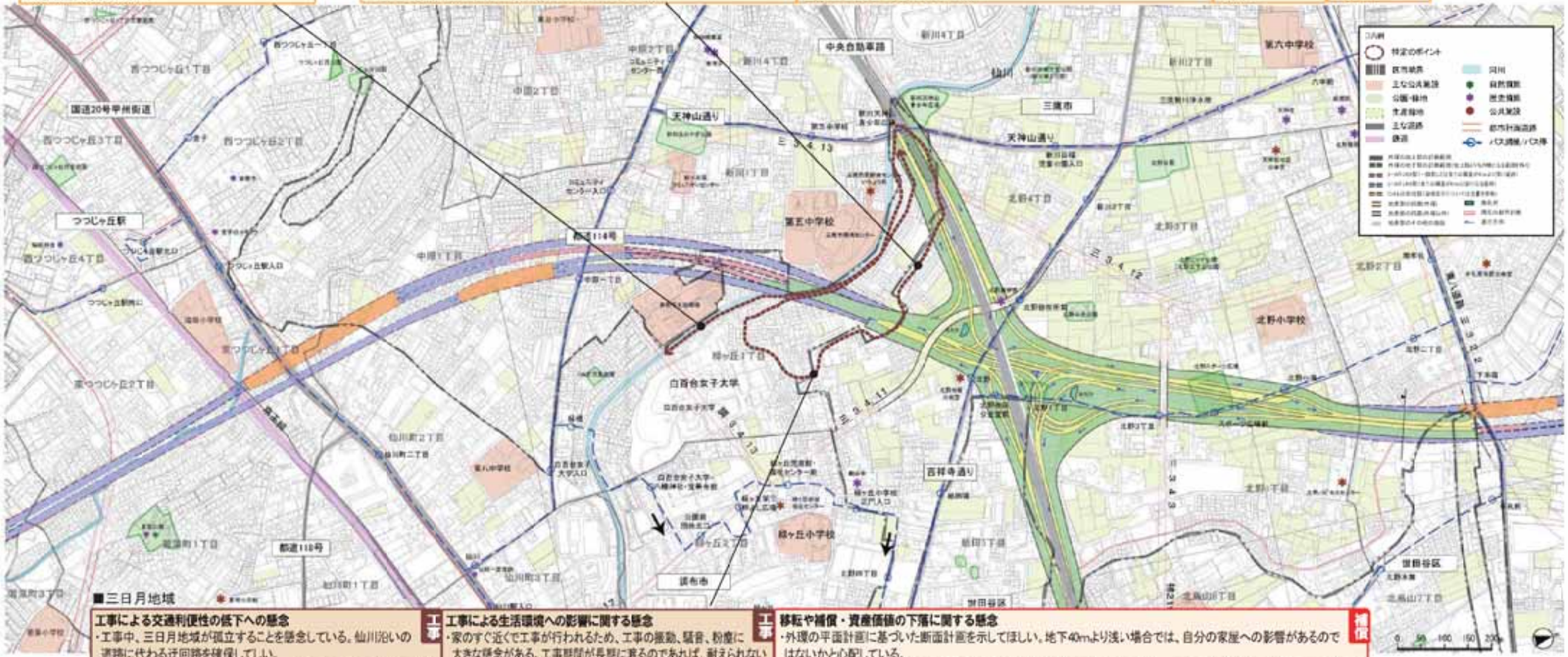
■三日月地域

地区内の移動や日常生活の不便への懸念
・三日月地域の住民が、現在利用している仙川遊歩道などが分断され、日常生活に不便が生じるのでか心配である。
・三日月地域内に行き止まりの道路ができると、地区内の移動にも支障が生じるので、行き止まりにならないようにしてほしい。
・環境施設帯（ベースマップ緑部）の端は、全て車道を整備しない限り、ここに隣接する住宅地は行き止まりになる。環境施設帯に、車が十分に通行できる車道を整備して吉祥寺通りにつなげれば、住宅地への車の流入を軽減できると思う。

まち
・三日月地域を含めて、地域一帯の交通を分断しないでほしい。三鷹都市計画道路3・4・11や調布都市計画道路3・4・17は、まだ用地を取得できる保証はないため、三鷹都市計画道路3・4・11を、新たに用地買収を行う必要のない環境施設帯を利用して吉祥寺通りにつなげた方が、現在の交通量を処理するのに現実的ではないか。
・外環建設による三日月地域の交通の分断を懸念している。地域分断を避けるため、工事中に分断される可能性のある仙川沿いの道の代わりに、仙川を一時的に暗渠にして車を通せるようにしてはどうか。

まち **通学路の分断への懸念**
・通学路が分断されることを懸念している。三日月地域から緑ヶ丘小学校への通学路を確保してほしい。

まち **地域コミュニティ分断への懸念**
・外環の整備により、三日月地域を含む緑ヶ丘の自治会は分断されてしまう。



■三日月地域

工事 **工事による交通利便性の低下への懸念**
・工事中、三日月地域が孤立することを懸念している。仙川沿いの道路に代わる迂回路を確保してしい。
・工事期間中も、車での三日月地域へのアクセス性を確保してほしい。
・工事中にトラックなどの工事関係車両が三日月地域に入り込み、狭い道路を塞ぐことを懸念している。工事車両の流入を防ぐため、三日月地域への外部車両を進入禁止にするなどの配慮が必要である。それを実施できないのであれば、三日月地域全体を買収すべきである。
・中央JCTの工事中は、外部に騒音や粉塵が漏れないようにするため、三日月地域の周辺に要塞の様に高い塀を建てることになり、日照や風通しに影響が出るのではないかと懸念している。また、三日月地域へのアクセス性が、非常に低下するのではないかと懸念している。

工事 **工事による生活環境への影響に関する懸念**
・家のすぐ近くで工事が行われるため、工事の振動、騒音、粉塵に大きな懸念がある。工事期間が長期に渡るのであれば、耐えられないのではないか。環境影響評価の振動、騒音などの予測評価結果は、供用後の状況であり、工事中については、十分な情報が提供がなされていない。生活できるのか不安なため、早期に説明がほしい。
・大きな工事であるため、工事車輌、作業員の車が1日数百台になると思う。工事中の騒音や振動を考えると、引っ越さざるをえないと不安に感じている。
・工事に伴う埃、騒音などの影響を、長期間受けることを懸念している。
・三日月地域はもともと沼地であったため、地盤が弱いと聞いている。工事が長期間に渡れば、振動などによって家が傾くなどの影響が出てくるのではないかと懸念している。

補償 **移転や補償・資産価値の下落に関する懸念**
・外環の平面計画に基づいた断面計画を示してほしい。地下40mより浅い場合では、自分の家屋への影響があるのではないかと心配している。
・外環とその周辺の工事、どのような事項がいつまでに決まるのかなどのスケジュールを示してほしい。計画によっては、自宅の処分を検討する必要が出てくるため、三日月地域を含む用地買収などの予定を示してほしい。
・三日月地域の全戸移転補償も検討すべきではないか。行政から提案することはまず考えられないので、まず三日月地域の住民が一体となって、自発的、段階的に実現させることを考えてはどうか。その際、地元に残りたい人は残れるような用地を確保する必要もある。
・高齢者にとっては、移転による生活の変化は負担となるのではと懸念している。三日月地域の中央自動車道の南側の環境施設帯を狭くすることができれば、そこに住んでいる高齢者の5～6世帯が移転しなくてすむのではないかと思う。
・三日月地域の高齢者は、この土地で長く生活しており、移転によって新たな環境に入るのは大変な負担となる。一概に、一斉移転がよいとは言い切れないのではないか。
・三日月地域は分断されてしまい、進入道路がなくなったり変更されると、資産価値が想像以上に下落するのではないか。現在の生活道路が改悪されることのデメリットが大きい。

Aグループ[3/3] 場所を特定できない意見

■交通

外環が利用しやすくなる整備への期待

交通

・地域に外環整備のメリットが感じられる様にするために、ジャンクションへのアクセス道路(緑ヶ丘団地→白百合女子大→中央JCT)を整備してほしい。
・東八道路からのアクセスではなく、スマートIC(ETC専用インターチェンジ)を整備して乗用車だけでも出入りができるような場所をつくれないか。この地域は、中央JCTができることによる負担を負うため、高速道路を使用しやすいという恩恵がほしい。
・高速道路の収益を利用者に還元するため、高速道路を全て無料化してはどうか。地域住民へのメリットにもなる。

■環境

大気汚染や騒音などによる影響への懸念

環境

・工事中も完成後も、大気汚染による健康への影響が心配である。
・今ののどかな生活(大気質、騒音、安心して歩ける環境など)を保てるように、可能な限り影響を削減するような計画を望んでいる。

■安全・安心

トンネル内での事故に関する懸念

安全

・現在の計画では東八道路にしかインターチェンジがため、出入口付近で渋滞が発生するのではないか。トンネル内で事故が発生した場合、大惨事になりかねない。調布市内にも、スマートIC(ETC専用インターチェンジ)をつくり、小型車の出入りを可能にしたらよいのではないか。
・トンネル内で車が炎上した場合、煙の換気や周辺への排気はどのように対処されるのか不安に感じる。トンネル内の避難路などの事故対策を示してほしい。また、先日の首都高速道路発生したような事故が、大深度トンネル内で発生するのを防ぐため、タンクローリーなどの危険物を積載した車両の規制ができないか。

■工事中

工事による生活環境への影響に関する懸念

工事

・工事中も完成後も、大気汚染による健康への影響が心配である。)
・工事車両からの排出ガスによる大気への影響、健康への影響が懸念される。
・工事期間中に、土砂の搬出のために計画地に出入りするトラックによって、騒音、振動、狭い道での交通事故などが発生することを心配している。現在の生活環境が保たれないのではないか。
・工事期間中に、土砂の搬出のために計画地に出入りするトラックによって、騒音、振動、狭い道での交通事故などが発生することを心配している。トンネル掘削の土砂は、陸上で輸送するのでなく、船舶を利用して多摩川から羽田空港の埋め立て地に運ぶなどして、道路の渋滞を回避すればよいのではないか。
・地元住民の不安を取り除くためには、掘削や土砂の運搬時の騒音や埃の影響を低減できるように、トラックや重機などの技術開発を進めることも必要である。
・工事による騒音、振動、粉塵などの生活への影響を懸念しており、それらが長期に渡れば、影響は更に大きくなると考えている。工事が短期間で終了できるように、施工技術の開発をすることも重要ではないのか。

■用地補償

代替地の確保や補償などに関する懸念

補償

・外環の整備によって受けるデメリットは大きい。中央JCT周辺、特に三日月地域は、全て国で買い取り、三日月地域の環境以上の土地と建物を提供してほしい。
・用地の買収については、計画の線にこだわらず、計画地周辺の住民に対しても柔軟な対応をすべきである。
・外環とその周辺の工事、どのような事項がいつまでに決まるのかなどのスケジュールを示してほしい。計画によっては、自宅の処分を検討する必要が出てくるため、三日月地域を含む用地買収などの予定を示してほしい。

三日月地域の土地利用についての提案

・外環建設によるデメリットの大きい三日月地域を全て買収してはどうか。買収した土地に、中央JCTの建設により有効活用される施設をつくる計画とすれば、買収の理由付けにもなると思う。(例:物流の積換え施設、道の駅、大型サービスエリア、風力発電施設、高速バスのバス停)

生活再建救済制度に関する懸念

・事業を円滑に進めるためにも、41mより浅いシールドトンネル部の影響のある地権者も含めたより広い地域に対して、事業の早い段階から、移転や補償の対応ができる制度を考えて実施してほしい。

■計画検討の進め方

(1)計画検討全般
・今後の生活設計のことや年齢的なことを考えると、早期実現を望んでいる。
・今後、人口の減少に伴い、交通量も減少すると考えられる。外環が必要なのかという懸念がある。1兆6千億円もの血税は他にまわしてもらいたい。

(2)意見の把握
・検討会で出された懸念にきちんと対応して、外環および周辺の工事に伴う騒音の削減や、道路の安全の確保のための対応策を検討してほしい。
・行政は異動が多いが、担当者が代わると対応が変わるようでは困る。一貫した対応をしてほしい。

(3)情報の提供
・換気所の高さが、予想していたよりも低かったため、周辺への影響がないように排気できるのかという懸念がある。換気所の高さが低くても、十分な排気が可能であることを示してほしい。また、停電などの緊急時に除塵装置が作動しないことも考えられるので、不安がある。その場合の対処はどうなるのか、運転用の電源はどう確保されているのか説明してほしい。
・換気所の高さが低いため、周辺への影響がないように排気できるのかという懸念がある。換気所の高さを15mに設定した根拠を、30m、45mなどの異なる高さの場合と比較して示してほしい。
・検討会で説明された資料の除じん装置の事例は、いずれも関西地方にあるものなので見学に行くことができない。実物を見ることで実感がわくと思うので、見学に行ける範囲の近隣の除じん装置の事例を示してほしい。
・検討会で説明された資料にある、換気所の影響のデータは、平均値で示されていたが、天候や風向きにより数値にはばらつきがあると予想される。特異な例も示してほしい。
・検討会で説明された資料に、換気所から排出される二酸化窒素の予測データが示してあるが、数値だけでは実感がわかず、わかりにくい。既存の類似の換気施設やその周辺地域を訪れることで、換気所ができた後の地域の様子が実感できると思う。見学会の実施を検討してほしい。大気の状況を実際に計測するなどして、実際に安全なのかを示してほしい。
・周辺に三鷹市の下水処理場があり、普段は特に臭わないが、天候などの条件によって臭う日もある。換気所も同様に、普段は大丈夫でも風向きや風力、気温などの条件によっては、周辺への影響が大きい場合があるのではないかが心配である。平均値だけでなく、極端な状況下での窒素・二酸化炭素の濃度、光化学スモッグの発生、それらによる人体への影響に関する情報を示してほしい。
・トンネル内で車が炎上した場合、煙の換気や周辺への排気はどのように対処されるの不安に感じる。トンネル内の避難路などの事故対策を示してほしい。また、先日の首都高速道路発生したような事故が、大深度トンネル内で発生するのを防ぐため、タンクローリーなどの危険物を積載した車両の規制ができないか。
・家のすぐ近くで工事が行われるため、工事の振動、騒音、粉塵に大きな懸念がある。工事期間が長期に渡るのであれば、耐えられないのではないか。環境影響評価の振動、騒音などの予測評価結果は、供用後の状況であり、工事中については、十分な情報が提供がなされていない。生活できるのか不安なため、早期に説明がほしい。
・外環の平面計画に基づいた断面計画を示してほしい。地下40mより浅い場合では、自分の家屋への影響があるのではないかと心配している。
・三日月地域に住む高齢者は、自分たちの生活がどうなるかを懸念している。わかりやすく情報を伝えるなど、親身に対応して、不安を解消してほしい。
・外環とその周辺の工事、どのような事項がいつまでに決まるのかなどのスケジュールを示してほしい。計画によっては、自宅の処分を検討する必要が出てくるため、三日月地域を含む用地買収などの予定を示してほしい。
・三日月地域も含め、外環ができた後も、この地域に住み続けたいという人たちに対し、情報が開示されていない。相談窓口を設けてほしい。
・何がどこまで決まっているのかが明確に示されていないのではないか。住民からアイデアをもらうのならば、計画の大枠ではなく、住民が心配し、興味も持っている生活に密着した細かい情報を示してほしい。計画は確実に進むのか、何がどこまで決まっているのか、外環と一緒に整備される周辺道路や工事期間などについて示してほしい。

■その他

(1)地区検討会の進め方
・検討会で説明された資料に、換気所から排出される二酸化窒素の予測データが示してあるが、数値だけでは実感がわかず、わかりにくい。既存の類似の換気施設やその周辺地域を訪れることで、換気所ができた後の地域の様子が実感できると思う。見学会の実施を検討してほしい。大気の状況を実際に計測するなどして、実際に安全なのかを示してほしい。
・中央JCTの整備は、調布市、三鷹市、世田谷区にまたがる一つの事業である。今後、対応策を検討する際に、整合性がとれるように、検討会の内容に関して情報交換を行い、共有化を図る必要があるのではないか。次の段階では、合同の検討会とすることも検討すべきである。

Bグループ[1/3] 場所を特定できる意見

■環境施設帯

植栽の管理に関する懸念 環境
・環境施設帯の緑化後に雑草が生い茂り、住民に草刈などの負担が生じることが心配である。環境施設帯の植栽は、関係者側で適切に管理してほしい。

見通しが悪い場所等での犯罪発生への懸念 安全
・武蔵野貫江線と仙川沿いの道は、ひったくりが発生しており、外環の環境施設帯や側道等において、犯罪が発生することが懸念される。外環の整備にあたっては、防犯に配慮した適切な植樹や街灯の設置を十分に検討してほしい。
・三鷹料金所付近の緑地帯では、夜は痴漢も出ていることを考慮すると、外環の広い環境施設帯も緑化した場合には、草木が生い茂って見通しが悪くなり、治安が悪くなる心配がある。事業関係者は、環境と治安の両面を十分に考慮した上で、環境施設帯の緑化整備と管理を適切に行なってほしい。

■中央 JCT 一帯

地盤沈下の影響への懸念 環境
・外環の整備により、仙川の水循環に影響が生じ、地下水が変動することによって、地盤沈下が発生しないか心配である。

工事による生活環境への影響に関する懸念 工事
・用地買収が進まず工事期間が長びくことにより、主に中央JCT周辺が長期間振動に悩まされる心配がある。

■料金所

大気汚染による影響への懸念 交通
・外環に2箇所設置される料金所での渋滞時に、大量に出る排出ガスによる影響(臭気、健康被害)が心配である。

■中央自動車道の側道

地域の交通利便性を高める整備への期待 交通
・地域の交通利便性を向上させるため、中央自動車道の側道は、一方通行ではなく両側2車線にして、双方向に通行できるようにすることを提案したい。

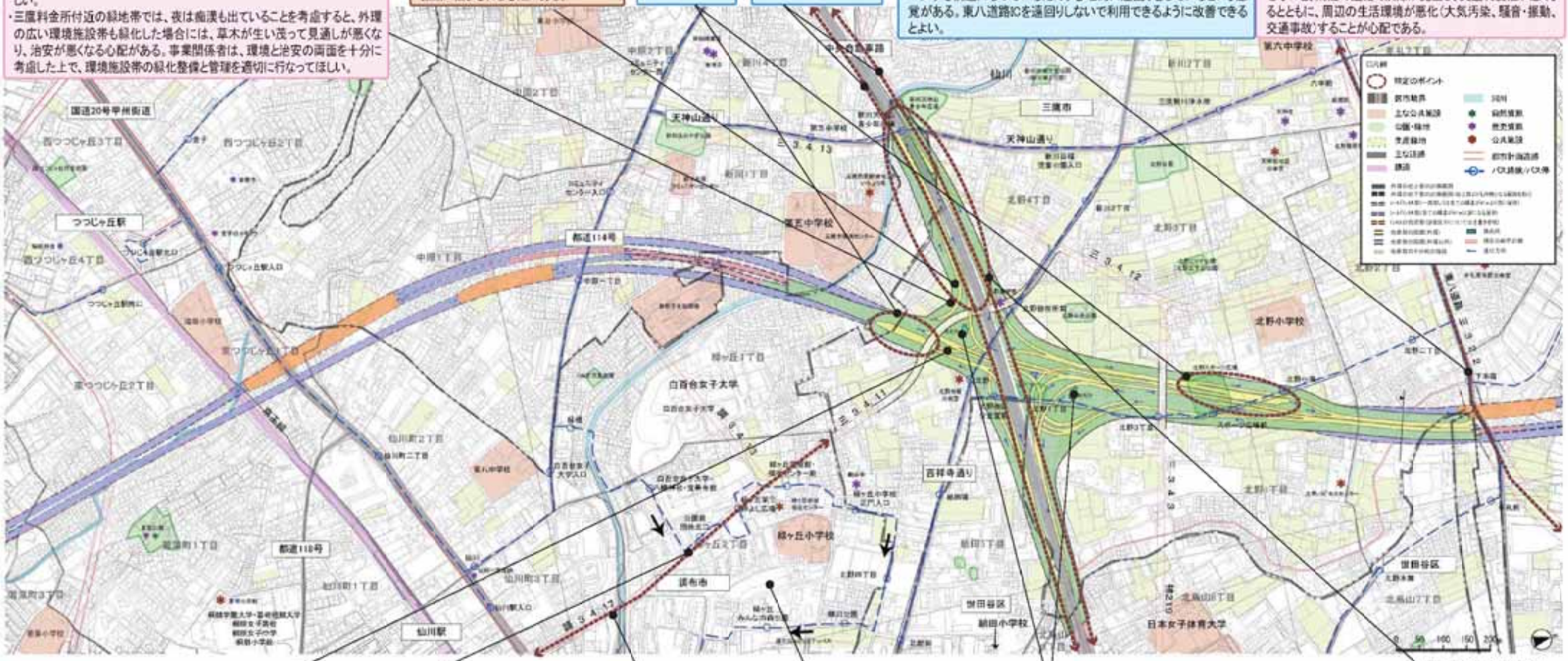
■東八道路

東八道路の整備が遅れることによる交通利便性の低下への懸念 交通
・外環の計画に合わせて、東八道路を計画どおりに完成させないと、周辺の道路で渋滞が発生し、交通利便性が悪くなるとともに、周辺の生活環境が悪化(大気汚染、騒音・振動、交通事故)することが心配である。
・地域の交通利便性を向上させるために、東八道路の未整備部分を、早く完成させてほしい。

東八道路ＩＣの利便性を高めることへの期待
・東八道路ICには、大泉方面に行く際には、一旦東名方向に進んでUターンする構造になっているため、心理的に遠回りをしているという感覚がある。東八道路ICを遠回りしないで利用できるように改善できるとよい。

東八道路の整備が遅れることによる生活環境への影響に関する懸念 環境
・外環の計画に合わせて、東八道路を計画どおりに完成させないと、周辺の道路で渋滞が発生し、交通利便性が悪くなるとともに、周辺の生活環境が悪化(大気汚染、騒音・振動、交通事故)することが心配である。

東八道路の整備が遅れることによる交通の安全性低下への懸念 安全
・外環の計画に合わせて、東八道路を計画どおりに完成させないと、周辺の道路で渋滞が発生し、交通利便性が悪くなるとともに、周辺の生活環境が悪化(大気汚染、騒音・振動、交通事故)することが心配である。



■中央 JCT

外環での交通事故への懸念 安全
・外環のランプの構造は複雑であるため、合流地点等で交通事故が起きる懸念がある。

中央ＪＣＴ上部から出る排出ガスの影響への懸念 環境
・中央自動車道の三鷹料金所周辺では排出ガスの臭いがする。中央JCT周辺の地域は、外環がほとんど地上に出ており、大量の排出ガスが出て、大気汚染がさらに進むのではないかと心配である。

■調布都市計画道路 3・4・17

地域の交通利便性を高める道路整備への期待 交通
・品川通りまでつながる道路が整備されると、地域の交通利便性が高まるため、吉祥寺通りの中央JCT南側部分の検討とは別に、調布都市計画道路3・4・17の早期整備が必要である。

■仙川崖線緑地

貴重な自然が失われることへの懸念 環境
・仙川崖線緑地の雑木林は、子供たちにとっても貴重な自然である。その場所に、調布都市計画道路3・4・17が整備されて、既存の環境が壊されることを心配している。調布都市計画道路3・4・17の計画を変更して、仙川崖線緑地を保全すべきである。

■みんなの広場

貴重な自然が失われることへの懸念 環境
・緑ヶ丘小学校脇の「みんなの広場」は、金蘭、飯蘭が自生している貴重な場所である。外環の整備や都市計画道路等の変更によって、自生環境に影響が及ばないようにしてほしい。(

■換気所

大気汚染による影響への懸念 環境
・2ヶ所の換気所から出る排出ガスの影響によって、持病の喘息が悪化することが心配である。
・三鷹市環境センターは、計画時の話と完成後の実態とでは状況が異なっている。外環のトンネル内の換気についての環境影響評価の結果も信用できない。親子で喘息の持病があり、息子の病気が悪化するのではないかと心配である。

換気所の高さや機能に関する懸念 環境
・換気所での排出ガス処理に関する計画や機械の性能が十分であるか不安である。換気所の故障時に、排出ガスによって大気への影響が大きくなる心配がある。(B13)
・換気所から出た排出ガスが周辺地域に降りてくるのではないか不安である。換気所の高さが15mで、大気に開放がないか説明がほしい。

■中央高速自動車道の高架下

地域の交通利便性を高める整備への期待 交通
・三日月地域から中央自動車道の反対側(三鷹市方面)への行き来がしやすいように、外環の整備と合わせて、生活道路網を充実させてほしい。

Bグループ[2/3] 場所を特定できる意見

■三日月地域

騒音・振動の影響への懸念 環境
・三日月地域には築後30～40年の老朽化した家屋が多いため、外環の工事中や開通後の振動による影響が心配である。このようなことも考慮して、補償を検討してほしい。
・緑ヶ丘1丁目の中央自動車道の近くに住んでいるが、中央自動車道の車の走行音が気になる。外環が開通したら、騒音の影響が心配である。

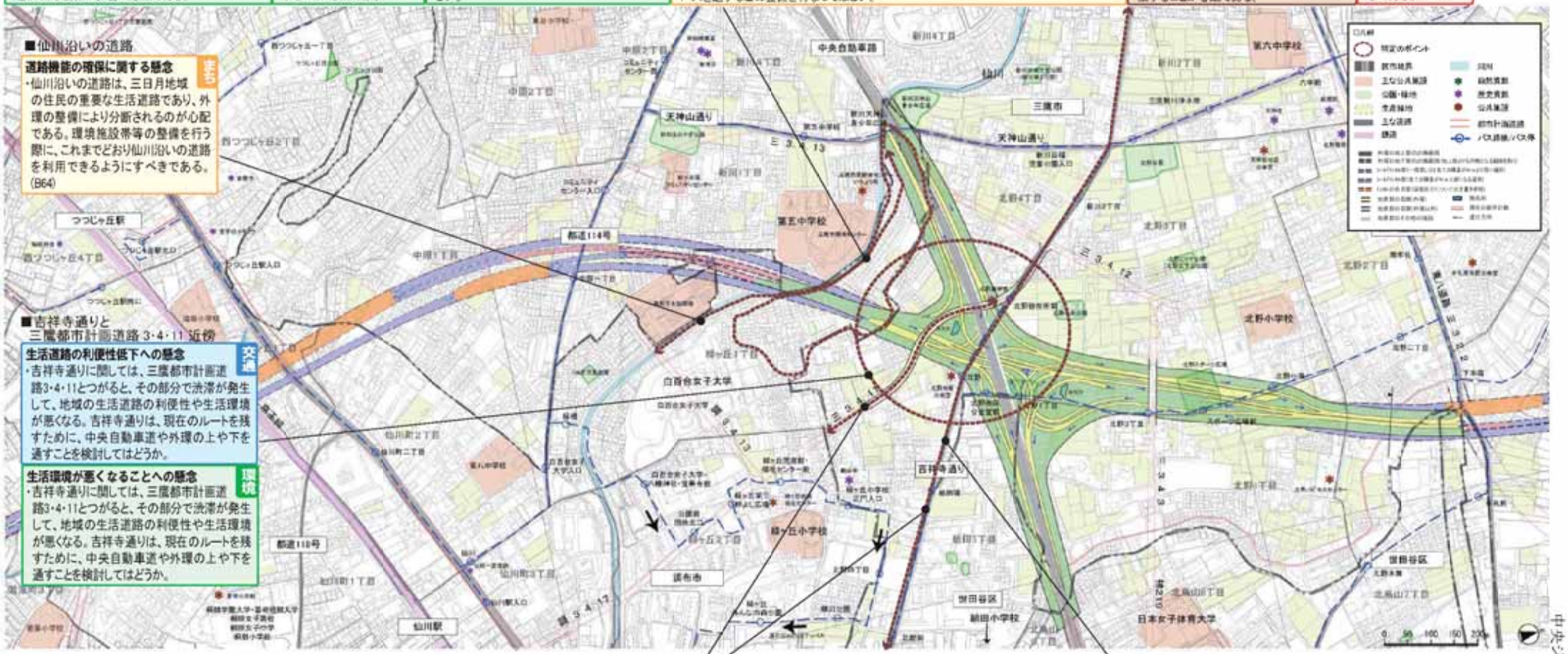
地盤沈下の影響への懸念 環境
・三日月地域には、旧仙川の用地が宅地になっている場所があり、地盤が緩い。そのため外環の工事や開通後の振動によって、地盤沈下が発生することが心配である。

生活環境が悪くなることへの懸念 環境
・三日月地域は、外環と中央自動車道に挟まれる地域である。環境悪化（大気汚染、騒音、振動、通風阻害など）が懸念される。
・中央JCT周辺の住環境が悪化して、住めなくなることが心配である。特に、息子の嘆息が、さらに深刻になることが心配である。外環の事業計画が決定したら、三日月地域から移転したいと考えているため、用地買収を検討してほしい。

地区内の移動や日常生活の不便への懸念 まち
・三日月地域にある自宅からは、自転車で仙川駅に行きにくい。外環が整備されることにより、生活動線が分断され、さらに自転車で移動しにくくなることが心配である。
・三日月地域は、人口の約3割が高齢者である。駅に行く場合は、バス停まで歩いてバスに乗ることが多い。調布都市計画道路3・4・17や調布都市計画道路3・4・13などの幹線道路の整備と合わせ、バスルートを検討し、三日月地域を含めた緑ヶ丘地区の交通利便性の向上を図ってほしい。
・三日月地域にバスルートがない上、外環の整備による地域分断によって、住民の生活利便性がますます悪くなることが心配である。三日月地域～白百合女子大学付近（緑橋付近）間にバスを通すなどの整備を行なってほしい。

工事による環境への影響に関する懸念 工事
・三日月地域には築後30～40年の老朽化した家屋が多いため、外環の工事中や開通後の振動による影響が心配である。このようなことも考慮して、補償を検討してほしい。
・三日月地域には、旧仙川の用地が宅地になっている場所があり、地盤が緩い。外環の工事や開通後の振動によって、地盤沈下が発生することが心配である。

生活再建救済制度に関する懸念 補償
・外環と中央自動車道に挟まれる三日月地域は、人が生活できる環境ではなくなるため、生活再建救済制度の検討対象に含めるべきである。



■吉祥寺通りと三鷹都市計画道路 3・4・11

幹線道路が渋滞することへの懸念 交通
・吉祥寺通りと三鷹都市計画道路3・4・11をつなげると、交通量が多くなり、渋滞が発生して交通利便性が悪化することが心配である。また、吉祥寺通りなどの幹線道路が渋滞することにより、生活道路に通過交通が入り込み、生活環境が悪化（大気汚染、騒音・振動、交通事故）することが心配である。

生活環境が悪くなることへの懸念 環境
・吉祥寺通りと三鷹都市計画道路3・4・11をつなげると、交通量が多くなり、渋滞が発生して交通利便性が悪化することが心配である。また、吉祥寺通りなどの幹線道路が渋滞することにより、生活道路に通過交通が入り込み、生活環境が悪化（大気汚染、騒音・振動、交通事故）することが心配である。

歩行者の利便性向上への期待 まち
・吉祥寺通りと三鷹都市計画道路3・4・11をつなぐ場合、吉祥寺通りの中央JCT以南の部分は、歩行者重視の生活道路として、自転車歩行者道としての整備を提案する。そのルートを整備する場合は、歩道部分を歩行者用2m、自転車用2mの合計4mの幅員を確保することを提案する。また、三鷹都市計画道路3・4・11も、中央JCT通過部分を、レインボーブリッジのように2層の構造とし、下段を歩行者道として整備し、吉祥寺通りの中央JCT南側につなげることを提案する。

生活道路の安全性低下への懸念 安全
・吉祥寺通りと三鷹都市計画道路3・4・11をつなげると、交通量が多くなり、渋滞が発生して交通利便性が悪化することが心配である。また、吉祥寺通りなどの幹線道路が渋滞することにより、生活道路に通過交通が入り込み、生活環境が悪化（大気汚染、騒音・振動、交通事故）することが心配である。

■吉祥寺通り

幹線交通の利便性向上への期待 交通
・地域の交通の利便性を向上させるために、吉祥寺通りについては、甲州街道（国道20号）の給田交差点と東八道路の間の円滑な連絡を確保してほしい。

吉祥寺通りの分断による生活不便への懸念 まち
・吉祥寺通りが中央JCTによって分断されるため、三鷹方面や吉祥寺方面へ移動するのに不便になるのではないかと心配である。
・都市計画道路の整備により、地域のバス路線が変わらないか心配している。吉祥寺通りのバスルートを、現状のまま残してほしい。

Bグループ[3/3] 場所を特定できない意見

■交通

周辺の都市計画道路の整備が遅れることによる交通利便性や環境への影響等に関する懸念
・外環の整備に時間を要するので、周辺の都市計画道路の整備にも時間がかかるのではないか。交通利便性の改善が遅れることが心配である。また、用地補償に関係する住民や権利者に、影響が生じることが心配である。
・吉祥寺通りなど、外環で分断される道路の代替路を整備しないまま外環の整備が始まった場合、地域内で渋滞が発生して、交通利便性や周辺環境が悪化することを心配している。外環の整備に遅れないように、地域の幹線道路網の適切な整備が必要と考える。

外環が利用しやすくなる整備への期待
・外環と甲州街道(国道20号)とのアクセスが重要である。両道が直結しないのであれば、甲州街道(国道20号)と東八道路IC間をスムースに連絡できるように、道路整備を行うことが重要である。
・中央自動車道の渋滞を緩和し外環道とのスムースな交通のために三鷹料金所の増設の検討を提案。
・吉祥寺通りと都市計画中央自動車道の側道は、現状8号線へ行くには途中で切れていて利便性が悪いため、外環の整備と合わせて、中央JCTも直線的に渡って、スムースな走行ができるように改善することを提案したい。
・調布市民などが、東八道路ICを多く利用して、その整備効果を高めるためには、東八道路ICにアクセスしやすい地域道路網の形成が重要である。

■環境

生活環境が悪くなることへの懸念
・外環の開通や、周辺の交通量の増加によって、地域の大気汚染がより深刻化し、それが原因の重度の健康被害(癌など)が増えることが心配である。
・親子で喘息の持病がある。外環や周辺の都市計画道路から出る排出ガスの影響によって、特に息子の症状が悪化するのではないと心配である。
・40mより浅い部分の地上では、どのような影響が生じるのか気がかりである。

地下水の影響への懸念
・地下水への影響は、実際に工事をしてみないとわからないのではないか。環境アセスメントの予測値どおりに、影響が極力小さくなるよう努めてほしい。もし、実測値が予測値よりも悪くなることが判明したら、その段階で迅速かつ適切な処置を行ってほしい。

■まちづくり

まちづくりに貢献する整備への期待
・今後は車の交通量が減り、自転車や歩行者の移動を十分に考慮すべき時代である。都市計画道路を整備する際には、自転車・歩行者道(片側4m)を、できる限り確保してほしい。
・中央自動車道の下には、お祭り等の場にもなるわんぱく児童遊園という場所がある。外環の整備においても、地域に開放されるコミュニティ施設などの設置を期待する。

■安全・安心

外環での交通事故への懸念
・外環での交通事故などによる火災などの影響(爆発炎上、煙など)が、周辺地区に及ぶことが心配である。
・外環を利用中(特にトンネル内)に、事故などが発生した場合の非常時の避難方法などについて、情報を事前に提供してほしい。

■工事中

工事による生活環境への影響に関する懸念
・外環や都市計画道路の工事のための工事車両の通行による騒音や振動、埃が心配である。工事車両の通行ルートや工事スケジュールを事前に知りたい。

工事中の安全に関する懸念
・外環の工事中に、事故(落盤など)が発生すること懸念している。安全対策をしっかり実施してほしい。
・三日月地域から緑ヶ丘小学校までの通学路が外環の工事中に分断されるため、遠回りになり、子供たちが安全に通学できなくなる心配がある。

■用地補償

用地買収に関する懸念
・外環の整備に時間を要するので、周辺の都市計画道路の整備にも時間がかかるのではないか。交通利便性の改善が遅れることが心配である。また、用地補償に関係する住民や権利者に、影響が生じることが心配である。
・用地買収のトラブルを避けるため、各市の見解をとるための文書が必要である。

■計画検討の進め方

(1)計画検討一般
・人口減少や原油価格の高騰などを踏まえると、外環の完成時の交通需要予測が、当初の見込みと違っていることが想定される。そのため外環のアクセス道路となる都市計画道路の計画について見直す検討が必要である。
・ガソリン価格高騰などの社会経済情勢の変化に伴い、今後、車の交通量が減っていくと考えられる。環境負荷の軽減やコストの縮減に向けて、都市計画道路の再検討を行うことが重要である。
・地域のことだけでなく、環境問題やガソリン価格高騰などを考慮すると、交通計画は、常に10年先を見据えながら、モーダルシフト(車から他の交通手段への利用転換)に関する検討も重要である。
・ガソリン価格の高騰などにより、車の流れに大きな変化が起こると考えられる。このようなことは、政府レベルで検討しなければならない要素である。その検討結果を受けて、都市計画道路の整備を再検討することが重要である。
・社会情勢によって、外環や都市計画道路の計画が変化している。住環境が保全されるよう計画全体を再検討してほしい。

(2)意見拡聞
・三日月地域に関する市長の答申の結果を尊重してほしい。中央JCT周辺を緑化すべきである。外環が建設されることにより、家屋の減価が懸念されるので、補償について考えてほしい。
・外環道整備に関する専用の市民の相談窓口を市役所に設置してほしい。

(3)情報提供
・換気所から出た排出ガスが周辺地域に降りてくるのではないか不安である。換気所の高さが15mで、大気に問題がないか説明がほしい。
・外環を利用中(特にトンネル内)に、事故などが発生した場合の非常時の避難方法などについて、情報を事前に提供してほしい。
・外環や都市計画道路の工事のための工事車両の通行による騒音や振動、埃が心配である。工事車両の通行ルートや工事スケジュールを事前に知りたい。
・家屋などの移転に関するはっきりした情報が示されないと、住民の生活や町会運営に支障をきたす。移転に関する情報を東つつじヶ丘の住民に知らせてほしい。
・外環の完成予定時期を教えてほしい。
・今後のグループ討議の参考にするため、一般的な都市計画決定から事業実施までの手続きの流れについて、教えてほしい。

■その他

(1)地区検討会の進め方
・地区検討会で出された意見に対し、外環の計画中で検討してほしい。その答えをできる限り早く出してほしい。
・外環や都市計画道路と周辺の関係を検討できるように、グループ討議では東つつじヶ丘も含まれた地図がほしい。
・地区検討会の時間が短くなるよう検討してほしい。
・地区の代表として、地区検討会に参加しているわけではないことを承知していただきたい。
・メンバーの外環に関する知識の差をなくし、討議が効果的に進むように、予め模型などで説明してほしい。

Cグループ[1/3] 場所を特定できる意見

■トンネル分合流部

移転や補償に関する懸念 補償

・トンネル内の本線とランプの合流部上部の居住者(図面のオレンジ部分)は、土地家屋等の補償対象かどうかが工事方法に左右されるため、不安な生活が続いている。一刻も早く、補償されるのかなど、具体的な対応策を示すべきである。

■換気所

大気汚染による健康被害への懸念 環境

・換気所から放出された排出ガスによる影響や、影響をおよぼす範囲について、具体的なデータを示されていないことが不満であり不安である。換気所からの排出ガスが、どれくらい拡散できるかなど、具体的な数値や場所を地域へ公表してほしい。

・練馬-朝霞間でオリンピック道路(東京都道・埼玉県道68号練馬川口線)が完成した昭和38年当時、その周辺に住んでいたのだが、周辺地域に排出ガスが滞留することで身体に悪影響を及ぼすと感じ、こちらへ引っ越してきた。また同様のことが起きようとしている。換気所で、排出ガスをどのように処理するのかが心配である。換気所で処理しきれない排出ガスが、地域へ滞留することが懸念される。

換気所の高さや機能に関する懸念 環境

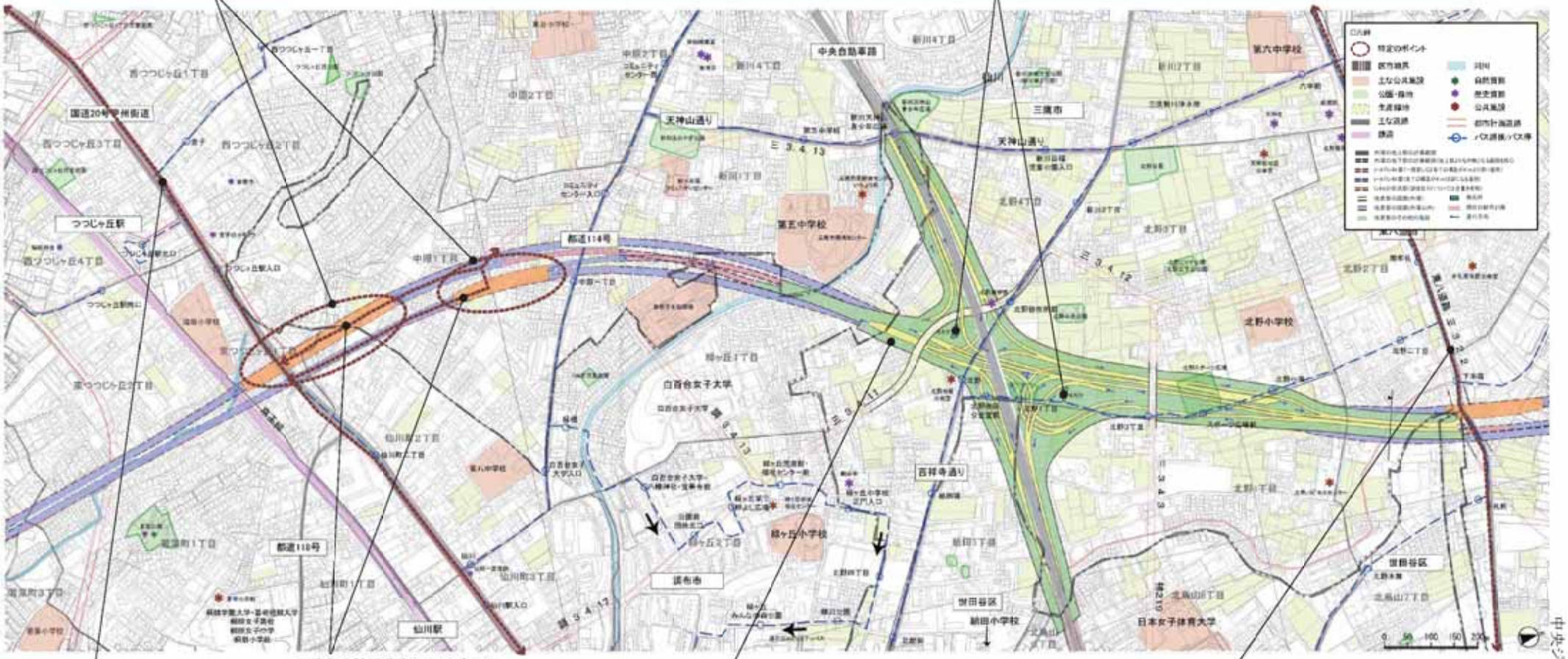
・換気所の高さが15mで、本当に排出ガスが拡散されるのか心配である。情報や説明がないことが不満である。換気所をつくってほしくはないが、つくるなら、充分に検討した上で高さを決めてほしい。

・換気所から放出される排出ガスが、生活に悪影響を及ぼす。換気所をつくってほしくはないが、つくるなら高さをもっと高くして、排出ガスが拡散するようにしてほしい。

・換気所の高さは15mとのことだが、この高さで排出ガスが拡散されるのか心配である。安全性が確保されるよう、高さ設定や、処理方法を十分に検討する必要がある。

他施設も含めた大気汚染による健康被害の懸念 環境

・周辺には換気所だけでなく三鷹市環境センター(三鷹市の処理施設)もある。外環と三鷹市環境センターとを総合的に評価した場合の大気汚染など、環境に関する生活への影響を知りたい。



■甲州街道

甲州街道から外環へのアクセスの期待 交通

・東八道路を外環の接続道路とすることは、道路網の形成の観点で懸念がある。広域的な視点で道路整備を考えると、甲州街道の方がよいのではないか。

■三鷹都市計画道路 3・4・13 支 1と
三鷹都市計画道路 3・4・13 支 2

周辺の都市計画道路の整備が遅れることによる生活道路への通過交通流入に関する懸念 交通

・三鷹都市計画道路3・4・11と三鷹都市計画道路3・4・13支2は、調布都市計画道路3・4・17、三鷹都市計画道路3・4・11と合わせ、外環の整備と同時に整備しないと、生活道路への通り抜け車両の流入の増加が懸念される。

■ジャンクション一帯

地域の分断への懸念 地域

・外環の整備により、吉祥寺通りが分断され、地域も分断されてしまうことが心配である。

工事中の交通・安全に関する懸念 工事

・工事中の地域内の交通や生活道路の安全面での影響が気になる。シールドの立杭の位置、資機材搬入道路や工事車両の通行ルートについて知りたい。

工事による生活環境への影響に関する懸念 工事

・工事中、工事車両が地域に進入することで、騒音や埃の影響が心配である。

・工事中の粉塵により、日常生活(洗濯物干し、空気の入れ替えなど)へ悪影響が及ぶ。

■東八道路

東八道路周辺の渋滞への懸念 交通

・東八道路の延伸整備が、外環の開通に間に合わなかった場合、渋滞が発生するのではないかと心配である。対応策を検討すべきである。

・スマートIC(ETC専用インターチェンジ)を設置したり、長いランプを経由せず、各々の車線から出られるようにすれば、東八道路ICへの交通集中・渋滞を回避することができるのではないか。専門家が検討しているはずなので、公表してほしい。

Cグループ[2/3] 場所を特定できる意見

■三日月地域

生活道路の安全性低下への懸念
・三日月地域では、課題解決の優先順位が非常に重要である。まずは、生活道路への通過交通抑制のために、車の侵入規制など、安心して住める地域にするということである。それが担保された上で、緑等の環境の保全・創出を考えていくのが順序である。安全なくして、環境の保全・創出はありえない。

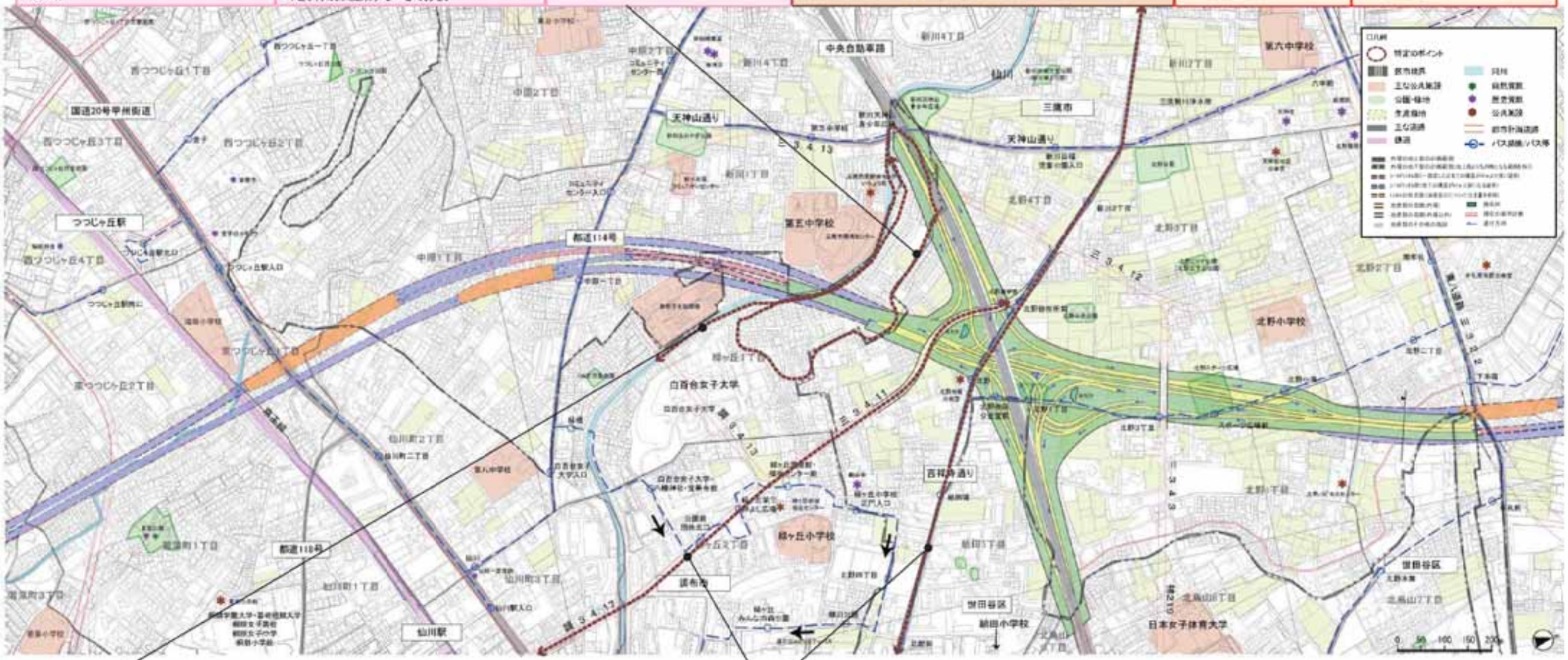
安全
・外環の整備により、三日月地域の仙川沿いの生活道路への通過交通がさらに増加し、非常に危険であることが懸念される。
・外環の整備により、三日月地域の仙川沿いの生活道路への通過交通が更に増加し、危険である。宅急便の車や自家用車のみを通行可能にするなど、三日月地域の住民の安全な生活が補償されるような仕組みを、行政は提案するべきである。

安全
見通しが悪い場所での犯罪発生への懸念
・中央JCTの近くに住み年齢が高齢期にさしかかるなか、これから10年以上かかる外環の計画に振り回され、生活の目処がたたないことが非常に辛い。近所のちょっとした工事でも、家が揺れ、大変であった。工事期間が長期に渡ることが予想され、騒音、振動などでノイローゼになりそうである。自宅のすぐ裏に、環境緑地帯ができると緑が防犯として、防犯上危険で怖い。

工事
工事による生活環境への影響に関する懸念
・中央JCTの近くに住み年齢が高齢期にさしかかるなか、これから10年以上かかる外環の計画に振り回され、生活の目処がたたないことが非常に辛い。近所のちょっとした工事でも、家が揺れ、大変であった。工事期間が長期に渡ることが予想され、騒音、振動などでノイローゼになりそうである。自宅のすぐ裏に、環境緑地帯ができると緑が防犯として、防犯上危険で怖い。
・日頃から工事や大型車が通過するときの、騒音や振動などで悩まされている。外環の工事を行う際に、生活と安全が確保されるのかが、非常に心配である。工事の段階から、車の規制をするなど、規則を定めてほしい。

補償
移転や補償に関する懸念
・外環の整備により、三日月地域は分断され、孤立してしまうため、買い上げてほしい。どの程度の希望を聞いてもらえるのか、教えてほしい。
・外環の整備により、三日月地域は分断され、孤立してしまう。充分な話し合い行い、買い上げなどの方策を検討してほしい。

補償
生活再建救済制度に関する懸念
・生活再建救済制度を活用して、土地家屋等の補償を進めているが、行政と近隣との調整が進まず止まっている。自身も高齢期にあり建物も老朽化した現在、今後の生活のメドがたたず非常に困っている。行政も一生懸命取り組んでくれているが、業務には限界があるので、早期問題解決(境界確定)のための専門家を配置してほしい。



■仙川道路沿いの生活道路

交通
生活道路への車の流入に関する懸念
・外環整備により、三日月地域の仙川沿いの生活道路への通り抜け車両の侵入がさらに増加してしまう。侵入防止施策が必要だ。

■吉祥寺通り、三鷹都市計画道路3・4・11、調布都市計画道路3・4・17

周辺の生活道路等への車の流入や渋滞への懸念
・島忠(ホームセンター)ができる予定だが、外環だけが整備され、他の都市計画道路が整備されないと、周辺の生活道路が渋滞してしまう。また、外環の整備により吉祥寺通りが分断されると、日常生活に支障がでる。周辺地域の都市計画道路に、どのように車が流れるのかなど、都市計画道路や生活道路の渋滞の対応策を検討してから、外環の事業を進めてほしい。
・外環の整備にあわせて、吉祥寺通りや三鷹都市計画道路3・4・11の整備も進めないと、生活道路へ進入する通り抜け車両が増加してしまう。
・外環だけが整備されると、生活道路へ進入する通り抜け車両が増加し、事故の危険性や渋滞が増大する。外環と三鷹都市計画道路3・4・11を同時に整備するべきである。
・外環が整備されても、その他の都市計画道路が整備されていないことにより、地域の生活道路が抜け道として利用されたり、渋滞することが心配である。外環の整備スケジュールと都市計画道路や生活道路の整備スケジュールとがずれているのはよくない。現在どのようスケジュールになっているのかを知りたい。
・外環の周辺道路について、外環の整備後は、現在の交通量に、インターチェンジを利用する車両が加わり、さらに渋滞する。外環の整備に合わせ、インターチェンジから甲州街道(国道20号)へ抜ける道路として三鷹都市計画道路3・4・11の整備が必要である。取付道路の詳細や、都市計画道路の整備計画を知りたい。

交通
・外環の整備に合わせて、調布都市計画道路3・4・17、三鷹都市計画道路3・4・11をはじめとする周辺の都市計画道路の整備も同時に進めないと、生活道路への通り抜け車両の流入の増加が懸念される。一方でこれらの道路が整備されると、都市計画道路や外環の利用度が高くなり、交通渋滞を招かないかも心配でもある。
・生活道路への通り抜け車両の流入の増加や渋滞が懸念されるため、外環の整備に合わせて、周辺の都市計画道路の整備も進める必要がある。同時に都市計画道路の整備以外の対策(交通規制など)も検討することも必要である。一方で、周辺の都市計画道路を整備する場合、立ち退きにより痛みを伴う住民への対処について、今後検討することが必要である。

Cグループ[3/3] 場所を特定できない意見

■まちづくり

まち

商業環境の変化に関する懸念
・仙川駅商店街で商売を営んでいる。道路ができることにより、商業環境は大きく変化する。外環の整備が、地域の商業環境にどのような影響を及ぼすのかを知りたい。

吉祥寺通りの分断による生活不便への懸念
・鳥忠(ホームセンター)ができる予定だが、外環だけが整備され、他の都市計画道路が整備されないと、周辺の生活道路が渋滞してしまう。また、外環の整備により吉祥寺通りが分断されると、日常生活に支障がでる。周辺地域の都市計画道路に、どのように車が流れるのかなど、都市計画道路や生活道路の渋滞の対応策を検討してから、外環の事業を進めてほしい。

■安全・安心

安全

生活道路の安全性低下への懸念
・外環だけが整備されると、生活道路へ進入する通り抜け車両が増加し、事故の危険性や渋滞が増大する。外環と三鷹都市計画道路3・4・11を同時に整備するべきである。

外環での災害・事故への懸念
・外環を地下化して、地震時など最悪な事態が生じたときの安全性は確保されているのかが心配である。根拠を示してほしい。

■用地補償

補償

生活再建救済制度に関する懸念
・生活再建救済制度を活用して、土地家屋等の補償を進めているが、隣地との関係で測量もできない状況である。自分、隣地、向かい側の三者から了解がないと進めることができないと言われても、生活がある住民にとっては重要なことである。境界確定が一刻も早く決められるように、行政に力を注いでほしい。
・生活再建救済制度は、高齢であるために手続きがスムーズにできなかったり、子どもたちと話し合いが進まないなどの理由から、期限までに申請できなかった住民もいる。用地買収がきちんとできるまで、制度の期限を延長してほしい。また、これらの問題を解決するために政治的に動いてほしい。

■計画検討の進め方

(1)計画検討一般
・環境影響調査は、公共地のみで実施しているので信憑性が薄い。事業化する場合は、地域へどのような影響を及ぼすのか、私有地も含めた適切なポイントで、環境に関する調査を実施すべきである。
・外環が整備されることにより、利便性が高まり良いと思うが、近隣住民にとっては切実な問題が多数あると思う。近隣住民のことを考えながら、検討することが必要である。外環の近隣住民と外環から少し離れた周辺地域の住民との相互理解を図ることが重要である。子孫が安心して暮らせる地域にしたい。
・外環の整備により、三日月地域の世帯は、激減する(240→150世帯)。三日月地域の課題をどのように解決するかによって、事業の進め方が変わってくる。三日月地域の課題について、真摯に取り組むことを期待する。
・この地域に、全てしわ寄せがきている。中央JCTと東八道路ICの地下化、中央JCTの位置の変更など、検討範囲を拡げて検討をしてほしい。
・三日月地域では、課題解決の優先順位が非常に重要である。まずは、生活道路への通過交通抑制のために、車の侵入規制など、安心して住める地域にするということである。それが担保された上で、緑等の環境の保全・創出を考えていくのが順序である。安全なくして、環境の保全・創出はありえない。

(2)意見把握
・検討会での意見や要望を、行政が、どの程度まで取り上げてくれるのか懸念がある。アリバイづくりではないのか。
・本来のPI(パブリック・インボルブメント)は、様々なコミュニケーション手法やファシリテーターをうまく活用して、地域の意見を取り入れていくことができる仕組みだが、これまではそのようになっていない。長年、外環の問題に関わってきた者として、PI実施のきっかけや筋道はつくってきたと思っている。この検討会では、本来のPIが行われるようにしてほしい。

(3)情報提供
・外環が整備されても、その他の都市計画道路が整備されていないことにより、地域の生活道路が抜け道として利用されたり、渋滞することが心配である。外環の整備スケジュールと都市計画道路や生活道路の整備スケジュールとがずれているのはよくない。現在どのようスケジュールになっているのかを知りたい。
・三鷹都市計画道路3・4・11は、事業化の目処がたっていない。行政は目処がたっているというが、鵜呑みにしてはいけない。住民も常に周辺の道路計画の状況や進捗を確認しておかなければならない。
・外環の周辺道路について、外環の整備後は、現在の交通量に、インターチェンジを利用する車両が加わり、さらに渋滞する。外環の整備に合わせ、インターチェンジから甲州街道(国道20号)へ抜ける道路として三鷹都市計画道路3・4・11の整備が必要である。取付道路の詳細や、都市計画道路の整備計画を知りたい。
・スマートIC(ETC専用インターチェンジ)を設置したり、長いランプを経由せず、各々の車線から出られるようにすれば、東八IC への交通集中・渋滞を回避することができるのではないか。専門家が検討しているはずなので、公表してほしい。
・換気所から放出された排出ガスによる影響や、影響をおよぼす範囲について、具体的なデータを示されていないことが不満であり不安である。換気所からの排出ガスが、どれくらい拡散できるかなど、具体的な数値や場所を地域へ公表してほしい。
・周辺には換気所だけでなく三鷹市環境センター(三鷹市の処理施設)もある。外環と三鷹市環境センターとを総合的に評価した場合の大気汚染など、環境に関する生活への影響を知りたい。
・外環を地下化して、地震時など最悪な事態が生じたときの安全性は確保されているのかが心配である。根拠を示してほしい。
・工事中の地域内の交通や生活道路の安全面での影響が気になる。シールドの立杭の位置、資機材搬入道路や工事車両の通行ルートについて知りたい。
・トンネル内の本線とランプの合流部上部の居住者(図面のオレンジ部分)は、土地家屋等の補償対象かどうかが工事方法にを右されるため、不安な生活が続いている。一刻も早く、補償されるのかなど、具体的な対応策を示すべきである。
・今回の都市計画決定は、出来る事が前提なのか、覆すことができないことなのか、どこまで決定されているのかを教えてほしい。
・検討会で出された意見などについて、何を、いつ、どのように計画へ反映するのかを、具体的に示していくべきである。市民は、今までも具体的な懸念や課題は出しているが、それらがどのように扱われているのかがわからない。検討会が地域の意見をきいたというアリバイづくりにされることが懸念される。三日月地域については、補償がどのようになるのか、国が買い上げてくれない場合はどのようにしたらよいのか、どこに相談したらよいのか、教えてほしい。
・甲州街道(国道20号)側に外環との接続道路を計画した方が便利であると考えている。現在の都市計画では、どこまで決定しているのかを教えてほしい。それから、前回発言した内容が入っていないように思う。意見が行政へ届くようにまとめてほしい。

■その他

(1)地区検討会の進め方
・中央環状新宿線など、最近竣工した事例を見学し、換気所の仕組み、排気の処理方法、事故対応策などを理解した上で、外環の計画を検討したい。知識がない状態で話し合っても意味がない。
・地域が出した要望や質問に対して、行政に回答を求めても返ってこない。PIによる検討会をもっと前にやるべきだと行政には伝えていたのに、時期が遅すぎる。ガス抜きのための検討会だと言われても仕方がない。そう言われないPIをしっかりするべきである。
・この検討会は、外環に関係する地域全体のことを検討し意見を出す場であるため、三日月地域についてのみ議論とするのは難しい。しかし、三日月地域が抱えている問題については、周辺地域の方にもぜひ理解してもらいたい。
・この検討会で検討しておかないと計画に反映できない内容と、その後の検討でよい内容を、見極めて議論することが必要であるが、その点は大丈夫なのか。
・三日月地域の仙川沿いの生活道路へ車が流入することを行政はどのように考えるのか。対応策を考えてほしい。
対策を検討するためにも、実際そのようなことが既に起きている地域(三原台・東映撮影所周辺)を見学し、問題点などを理解した上で、地域からも対応策を検討したい。
・外環の検討に参加する市民も、どの段階で何を話し合うのか、検討のプロセスを理解して参加しないと検討が進まない。事業化決定、工事中と、これから各段階ごとに今回のような検討、話し合いの機会が設けられるはずである。そのことを理解して参加する必要がある。
・今までに出された他のグループの意見(懸念・期待)も共有し、間違った認識については、検討会のメンバーで修正をするなど、確認する機会が必要である。間違った認識のまま検討が進むことは問題である。
・甲州街道(国道20号)側に外環との接続道路を計画した方が便利であると考えている。現在の都市計画では、どこまで決定しているのかを教えてほしい。それから、前回発言した内容が入っていないように思う。意見が行政へ届くようにまとめてほしい。
・外環の整備が進むということを前提に、検討会が進められてしまうことが残念である。整備することが果たしてよいことなのか、地域にとってはどうなのかも含めて、意見が言えるのが検討会なのではないか。

Dグループ[1/2] 場所を特定できる意見

■仙川沿いの道

安全性や治安が損なわれることへの懸念 安全
・本来生活道路であるはずの仙川沿いの道路は、現状でも交通量の多い抜け道となっている。この道が分断されることで通過交通が生活道路に流入し、安全性や治安が損なわれることが心配である。

■三日月地域

地域の孤立への懸念 まち
・三日月地域が孤立することに懸念がある。三日月地域が孤立しないように、この地域につながる道を確保してほしい。

通学路等の安全性低下への懸念 安全
・緑ヶ丘小学校へは、北野小学校や給田小学校の校区から越境児童も通っている。また、三日月地域は、多くの児童の通学路となっている。このような実態も踏まえ、工事中も含めた通学路の確保と交通安全対策が実施されることを期待する。

工事中の安全に関する懸念 工事
・緑ヶ丘小学校へは、北野小学校や給田小学校の校区から越境児童も通っている。また、三日月地域は、多くの児童の通学路となっている。このような実態も踏まえ、工事中も含めた通学路の確保と交通安全対策が実施されることを期待する。

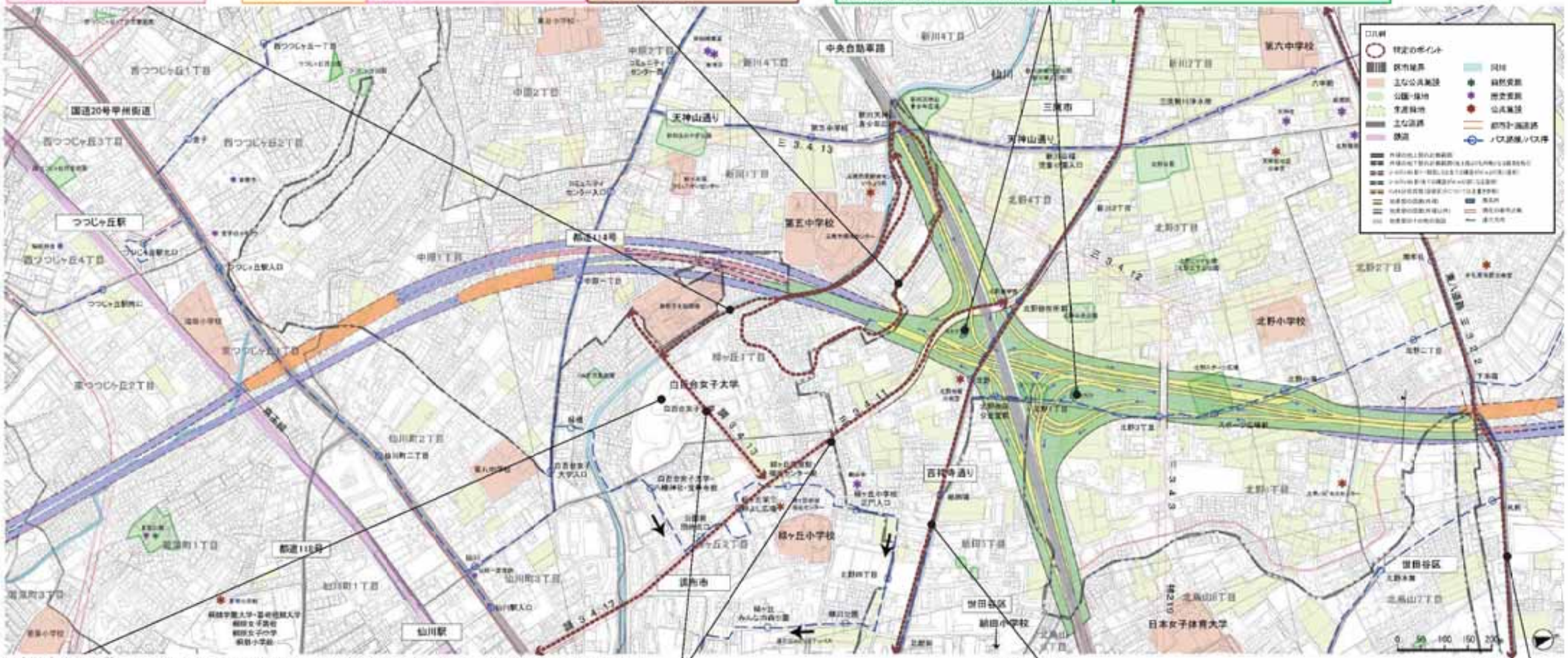
■換気所

大気汚染による影響への懸念 環境
・換気所に関する知識がないため、不安がある。同じタイプの換気所の見学会を行いたい。
・大気汚染が集中しないよう、換気所を分散してほしい。中央環状線の換気所は分散されているので、これらの見学会を行いたい。

他施設も含めた大気汚染による影響への懸念 環境
・外環の計画地周辺は、現状でも中央自動車道の排出ガスや三鷹環境センターの影響がある地域である。ここに換気所を設置することになるため、これらを総じた大気汚染の具体的予測値と身体への影響、さらに、一般(都内平均など)との比較を教えてほしい。

換気所の高さに関する懸念 環境
・換気所の高さが15mと低く、十分に排気が拡散するのか懸念がある。データ上は十分に排気を拡散でき、景観にも配慮したとのことだが、不安は拭えない。

騒音・振動への懸念 環境
・換気所で発生する振動や騒音を心配している。



■白百合女子大学

地下水の影響への懸念 環境
・災害時に利用できることになっている白百合女子大学の湧水が枯れてしまわないか心配している。

■三鷹都市計画道路3・4・11、調布都市計画道路3・4・17、調布都市計画道路3・4・13

生活道路への車両の進入に関する懸念 交通
・三鷹都市計画道路3・4・11や調布都市計画道路3・4・17は、外環の整備に先行して必要な道路である。しかし、これらにのみ通過交通の負荷がかかり、周辺の生活道路が抜け道として利用されることを懸念する。調布都市計画道路3・4・14など他の都市計画道路の整備も含め、地域の幹線道路のネットワークを外環に先行して整備することで、生活道路への通過交通の流入防止を期待する。

幹線道路や外環が利用しやすくなる整備への期待 交通
・調布都市計画道路3・4・13は、地元にとって東八ICへのアクセス道路ともなる。外環の整備に伴い、不利益を被る地元への還元としても整備を期待する。
・調布都市計画道路3・4・13は、白百合女子大学を二分して通ることになる。大学の地下を通すという考え方もあるので、整備されることを期待する。

工事中の安全に関する懸念 工事
・外環の工事車両が、甲州街道(国道20号)から生活道路に入り込むと危険である。三鷹都市計画道路3・4・11、調布都市計画道路3・4・13などの都市計画道路を、外環整備より先に整備してほしい。

■吉祥寺通り

吉祥寺通りの分断及び生活道路への車の流入に関する懸念 交通
・通過交通が多い吉祥寺通りが分断された場合、周辺の生活道路に、車両が流れ込むことを懸念する。吉祥寺通りの機能を代替する道路を、外環の整備に先行して確保してほしい。
・甲州街道(国道20号)から東八ICを結ぶ幹線道路が複数必要である。そのような観点からも。吉祥寺通りは分断せずに、ブリッジを架けるなどして通してほしい。それが不可能ならば、三鷹都市計画道路3・4・11と調布都市計画道路3・4・17を整備し、これに接続してほしい。

吉祥寺通り分断による生活不便への懸念 まち
・バス通りでもあり重要な生活道路である吉祥寺通りが分断されることを心配する。

■東八道路

生活道路への車両の進入に関する懸念 交通
・甲州街道(国道20号)から東八道路へアクセスする道路が未整備の場合、東八道路IC周辺の生活道路に車両が流入することが心配である。

Dグループ[2/2] 場所を特定できない意見

■交通

交通

生活道路への車の進入に関する懸念
・工事中の工事車両や、供用後に東八道路ICを利用する車が、地域の生活道路へ流入することを懸念する。これを防ぐために、三鷹都市計画道路3・4・11および都市計画道路調布3・4・17は、外環の整備に先行して、甲州街道(国道20号)まで整備してほしい。
・主要幹線道路である都市計画道路を先行して整備しないと、広域交通の要所となる東八IC設置による生活道路への影響が大きく、これを懸念する。

地域の交通利便性を高める整備への期待
・都市計画道路を整備することで、通過交通の負担は都市計画道路が担い、生活道路は一方通行として、地域の住民のための道路とすることを期待する。

生活道路の利便性低下への懸念
・周辺住民の利便性向上という観点では、スマートIC(ETC専用インターチェンジ)による出口の設置を計画に追加することを期待する。

■環境

環境

騒音への懸念
・現地見学会では、中央自動車道の騒音が気になった。この音は継ぎ目で発生する音であり、外環では生じないとのことだが、中央自動車道の防音対策は不十分であるとも聞いている。外環では、十分な対応が施されるのか懸念する。
・防音壁がどのような計画となっているのか不安である。計画の先行事例を見学させてほしい。
・中央自動車道の騒音が三鷹市環境センターで反響し、仙川対岸の三日月地域に響いている。騒音による振動もあるため、細かい状況についても把握してほしい。
・換気所の影響は、着地点濃度分布図で見ることができた。同様に騒音の場所ごとでの具体的影響を可視化したものを見たい。
・この地域は、訪れた人が静かだという印象を持つ環境である。その環境が外環の整備後も保たれるのか懸念する。

地下水の影響への懸念
・大深度トンネルなどによる地下水への影響を心配している。

■まちづくり

まち

地域の分断への懸念
・都市計画道路と既存の生活道路がうまく接続されるのか心配している。
・生活道路が分断されることを懸念する。分断される生活道路の代替路を外環の整備に先行して確保してほしい。

■安全・安心

安全

生活道路の安全性低下への懸念
・中央JCT周辺の生活道路は、農道のままの狭い道が多い。ここに東八道路ICへアクセスする車両が入り込んで危険になるのではないか心配である。

■工事中

工事

工事中の交通・環境・安全に関する懸念
・工事中の工事車両や、供用後に東八道路ICを利用する車が、地域の生活道路へ流入することを懸念する。これを防ぐために、三鷹都市計画道路3・4・11および都市計画道路調布3・4・17は、外環の整備に先行して、甲州街道(国道20号)まで整備してほしい。
・周辺の住民は、工事中の状況がどのようになるのかわからないため、不安を感じている。例えば、以前は農道だった狭い道に、工事車両が流入することや、地盤の悪いこの地域が工事に伴う振動に耐えられるのかなどといったことに不安がある。
・工事車両の通行は、地域の交通、環境、安全に影響がある。工事車両の経路、1日あたりの通行台数、駐車場所などを詳細に説明してほしい。
・工事中の振動を心配している。
・工事中の騒音を心配している。
・中央JCT周辺は、現在は窓を開けて生活できる地域であるが、工事で環境や景観が悪化するのが心配である。特に、夜間や休日の工事は避けてほしい。
・中央JCT周辺の生活道路は、農道のままの狭い道が多い。ここに工事車両が入り込んだ場合、安全に歩けなくなるのではないかと心配している。

■用地補償

補償

移転や補償に関する懸念
・緑ヶ丘地区は高齢者も多く、今後の移転先や用地補償などの不安を抱えている。行政側の対応は個別対応であり、結果それぞれがひとりで悩んでいる。外環の計画地に関係する高齢者の心のケアが心配である。不安をとりのぞき、精神的に孤立しない工夫をしてほしい。
・住むことが可能ならば、用地補償の対象外となってしまうのか不安である。

■計画検討の進め方

(1)計画検討一般
・予想外の事態が起きた場合、どのような対応を考慮しているのか懸念している。例えば、環境変化による免疫のない子供への影響、地震や水害などの自然現象への対応などを、どのように考えているか示してほしい。

(2)情報提供
・外環の計画地周辺は、現状でも中央自動車道の排出ガスや三鷹環境センターの影響がある地域である。ここに換気所を設置することになるため、これらを総じた大気汚染の具体的予測値と身体への影響、さらに、一般(都内平均など)との比較を教えてほしい。
・換気所の影響は、着地点濃度分布図で見ることができた。同様に騒音の場所ごとでの具体的影響を可視化したものを見たい。
・生活設計ができないので、外環の事業の開始時期および期間を教えてほしい。
・工事用の壁が目の前に立った場合、どれくらい圧迫感があるのか心配である。壁の設置期間などの工事の詳細を早く教えてほしい。
・工事車両の通行は、地域の交通、環境、安全に影響がある。工事車両の経路、1日あたりの通行台数、駐車場所などを詳細に説明してほしい。
・予想外の事態が起きた場合、どのような対応を考慮しているのか懸念している。例えば、環境変化による免疫のない子供への影響、地震や水害などの自然現象への対応などを、どのように考えているか示してほしい。
・計画概念図では、仙川が分断された表現になっている。仙川が分断されずに残るのならば、住民にもわかる表現にしてほしい。
・大泉JCTの整備時には、住民向けの地域伝言板(掲示板)を常に出していた。調布でも掲示板を活用してほしい。
・都市計画道路計画線内に新築住宅を建設されたり、三日月地域周辺で、耐震補強や建替えを行っている住民がいる。外環の整備に関する情報がしっかり周知されているのか伝わっているのか不安である。
・すでに完成している区間の先行事例を基に、工事中にどのような交通・安全・環境影響などの計画が立てられ、実際にどのような影響があったのか、具体的に示してほしい。
・説明は曖昧であるのに対し、模型が細部までできていることが、住民の不安を増す要因になっている。

■その他

(1)地区検討会の進め方
・課題は、以前にも聞いてまとめている。その内容を踏まえ、課題に踏み込むような進め方をしてほしい。一から聞くのは無駄である。
・甲州街道(国道20号)アクセスの問題が大きいので、甲州街道(国道20号)も入った地図を用意してほしい。
・換気所に関する知識がないため、不安がある。同じタイプの換気所の見学会を行いたい。
・大気汚染が集中しないよう、換気所を分散してほしい。中央環状線の換気所は分散されているので、これらの見学会を行いたい。
・防音壁がどのような計画となっているのか不安である。計画の先行事例を見学させてほしい。
・換気所、防音壁などの先行事例があれば、積極的に見学会を開催してほしい。
・検討会で用いる地図は、甲州街道(国道20号)と吉祥寺通りが交わる給田交差点を含めたものとしてほしい。

(2)その他
・外環の整備に先行してつくるべき都市計画道路の用地に、住宅分譲などが行なわれているのはおかしい。
・三日月地域には、特有の課題も多くあるため、三日月地域の住民の意見の集約を行ってはどうか。

Eグループ[1/3] 場所を特定できる意見

■ジャンクション一帯

換気計画の性能への懸念 環境
・この地域の外環の換気計画では、ジェットファンでトンネル内の空気を換気所へ導くとのことだが、きちんと機能するのか心配である。この換気方式を導入している事例があれば教えてほしい。トンネル内へどこから清浄空気を送り込むか、どの範囲の汚れた空気を導くことができるかなどの詳しい評価を知りたい。結果によって、より効果的な対策も考えられるのではないかと思う。

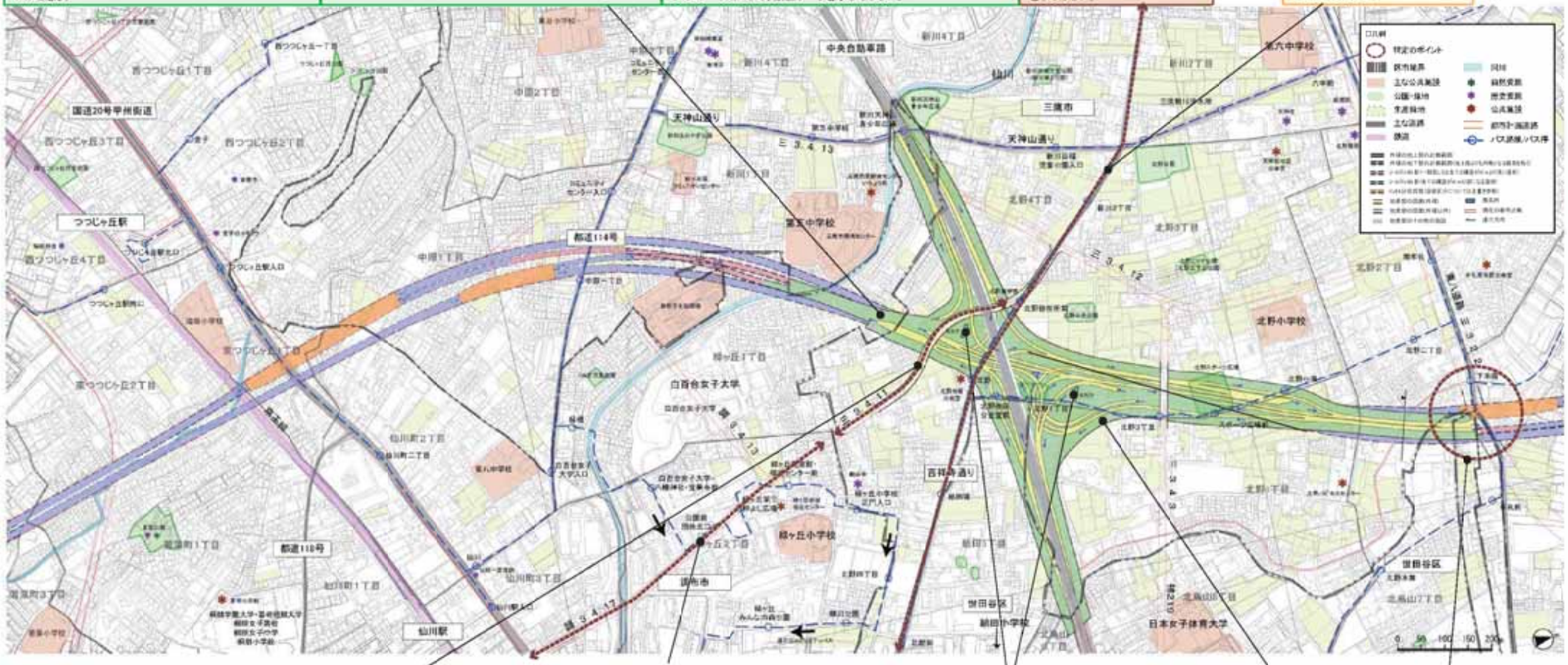
中央JCTや東八道路ICの地上部からの排出ガスの影響への懸念 環境
・中央JCTの擁割部から排出ガスが漏れ出して、大気が汚染されることが心配である。工事中も含めて、擁割部から排出ガスが漏れ出さないように、ドームカバーを設置するなどの検討をしてほしい。
・ジャンクションやインターチェンジの経路が複雑でアップダウンも激しいため、アクセルを踏む回数が増えて、その分、排出ガスの排出量が多くなるのではないかと心配である。

・ジャンクションやインターチェンジの経路が複雑なので、ランプの合流地点の見通しをよくするために、設計を進める段階で、現在よりも開削部の面積が広くなるのではないかと思う。その場合、排出ガスの漏れ出す量が増えたり、緑地の面積が減ることが心配である。
・外環の排出ガスは、換気所を通して大気に出されるが、中央JCTの擁割部分では、通行する車からそのまま排出ガスが出てくるのが心配である。交通量が予測されているので、排出ガスの量や大気への影響をシミュレーションして、数値データを示してほしい。

工事車両の排出ガスの影響に関する懸念 工事
・中央JCTの擁割部から排出ガスが漏れ出して、大気が汚染されることが心配である。工事中も含めて、擁割部から排出ガスが漏れ出さないように、ドームカバーを設置するなどの検討をしてほしい。

■吉祥寺通り

道路機能確保に関する懸念 まち
・吉祥寺通りは、この地域のメインストリートであり、バス路線にもなっている。この道路が分断されるのが心配である。今までどおりに利用できるように、外環の計画地を利用して、迂回させる工夫を検討し、残るようにしてほしい。



■三鷹都市計画道路 3・4・11

通学路等の交通安全への懸念 安全
・子供たちの登下校時に、住民の有志で通学路の見守りをしている。三鷹都市計画道路3・4・11が通ると、通学路にあたることもあり、目が行き届かなくなるのではないかと心配である。
・三鷹都市計画道路3・4・11は、緑ヶ丘小学校や児童が通う公園、緑ヶ丘団地仙川アパートなどが集まり安全に歩行できる地域を通る。三鷹都市計画道路3・4・11が整備されると、現在の吉祥寺通りと同じくらいの交通量が発生し、交通安全上の問題があるのではないかと心配である。
・三鷹都市計画道路3・4・11は、東八道路ICと甲州街道(国道20号)方面を行き来する車の交通量が多くなると思う。緑ヶ丘小学校が近くにあり、交通安全対策について検討されているか心配である。

■調布都市計画道路 3・4・17

工事中の交通・安全に関する懸念 工事
・三鷹都市計画道路3・4・11は、通学路になっているため、工事中の交通安全対策が心配である。
・工事車両は吉祥寺通りを経由して甲州街道を利用すると思う。吉祥寺通りの振替え道路となる三鷹都市計画道路3・4・11と調布3・4・17を早く整備しておかないと、工事車両が生活道路に入ってくるのではないかと心配である。

■換気所

大気汚染の影響への懸念 環境
・換気所からの排出ガスは、風がないときにはこの地域の周辺で淀んでしまい、拡散しないのではないかと心配である。
・換気所から排出される排気ガスの地上に落ちる濃度が一番高くなるのは約1kmの地点との説明があった。直近のことばかりでなく、周辺も含めて大気汚染が心配である。
・換気所からの排出ガスによる大気汚染が心配である。環境影響評価で、世界的な環境基準のPM2.5が採用されていないことが心配である。

■環境施設帯

防犯・治安に関する懸念 安全
・環境施設帯は、無人の広大なオープンスペースである。目の届かない死角ができたり、夜間の防犯、治安の面が心配である。

■東八道路IC

東八道路ICの利便性に関する懸念 交通
・東八道路ICの場所が調布市からは遠いため、これだけ大規模なものができても外環や中央自動車道を利用するには不便ではないかと心配である。

Eグループ[2/3] 場所を特定できる意見

■仙川沿いの道路

道路機能の確保に関する懸念 まち
・仙川沿いの道路は、甲州街道(国道20号)まで通じており、地域の人もよく利用しているので、分断されるのではないかと心配である。残してほしい。
・三日月地域の住民は、公共交通が少ないので仙川沿いの道を歩いて仙川駅まで出ている。外環の整備によって、仙川沿いの道路が分断されないか心配である。

■仙川

仙川が堰き止められるのではないかとの懸念 環境
・仙川は、地上部分から開削工事をする区域に含まれているため、堰き止められてしまうのではないかと心配である。

■三日月地域

移動や日常生活の不便への懸念 まち
・三日月地域に住んでおり現在の住環境はとてもよい。工事中や外環供用後、仙川駅方面や天神山通り方面の道路が分断されて通れなくなるのではないかと心配である。
・三日月地域は、地域分断などの問題が発生し、地域に残る人たちの生活が大変になるのではないかと心配である。

まちづくりやコミュニティ活動に関する懸念 まち
・三日月地域の住民は影響が大きいということはなんとなく理解しているが、具体的な情報は共有できていない。賛成・反対というわけではないが、住民同士で計画内容についての議論があり、その対立がきっかけで人付き合いなどがうまくいかなくなり、引越した人もいるようだ。こういったことでコミュニティ活動が低下するのではと心配である。

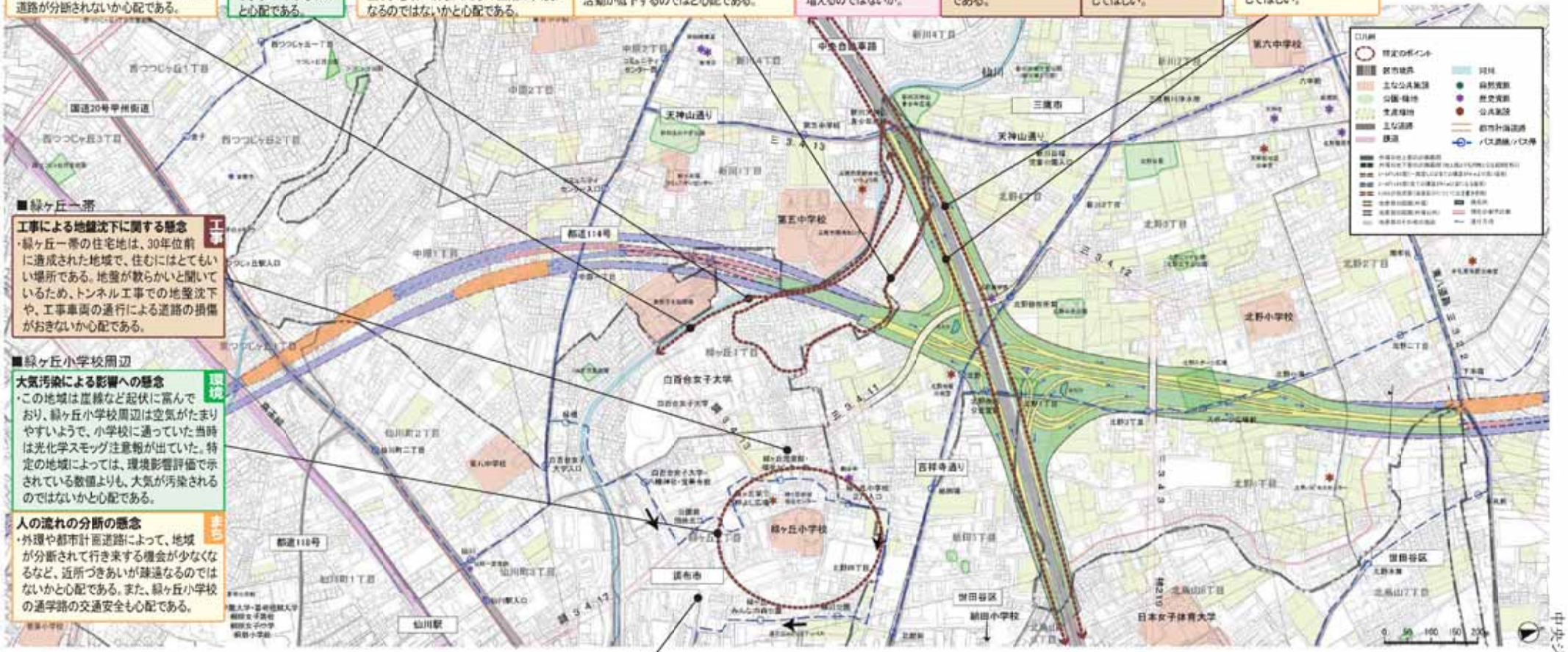
抜道に利用する車への懸念 安全
・三日月地域は閑静な住宅地であるが、抜け道として利用するために流入する車が多い。交通安全のために、一方通行などの規制をしてはどうか。一方で、一方通行にすると、スピードを出す車が増えるのではないか。

工事中の交通利便性の低下への懸念 工事
・三日月地域に住んでおり現在の住環境はとてもよい。工事中や外環供用後、仙川駅方面や天神山通り方面の道路が分断されて通れなくなるのではないかと心配である。

工事中の生活環境への影響に関する懸念 工事
・近所に舗装が傷んでいる道路があり、大型車が通ると家が揺れてしまう。工事車両が通るようになると、頻繁に振動するのではないかと心配である。工事前に、道路の舗装を直してほしい。

■中央高速道路の側道

道路機能の確保に関する懸念 まち
・中央自動車道の側道は利便性が高く、地域住民が利用する主要な道路である。分断されて通れなくなることが心配である。外環の整備後も、中央自動車道の側道を利用できるように残してほしい。



■緑ヶ丘一帯

工事による地盤沈下に関する懸念 工事
・緑ヶ丘一帯の住宅地は、30年位前に造成された地域で、住むにはとてもいい場所である。地盤が軟らかいと聞いているため、トンネル工事での地盤沈下や、工事車両の通行による道路の損傷がおきないか心配である。

■緑ヶ丘小学校周辺

大気汚染による影響への懸念 環境
・この地域は崖線など起伏に富んでおり、緑ヶ丘小学校周辺は空気がたまりやすいようで、小学校に通っていた当時は光化学スモッグ注意報が出ていた。特定の地域によっては、環境影響評価で示されている数値よりも、大気が汚染されるのではないかと心配である。

人の流れの分断の懸念 まち
・外環や都市計画道路によって、地域が分断されて行き来する機会が少なくなるなど、近所づきあいが疎遠なるのではないかと心配である。また、緑ヶ丘小学校の通学路の交通安全も心配である。

■緑ヶ丘団地仙川アパート

地下水の影響への懸念 環境
・緑ヶ丘団地仙川アパートは、仙川沿いの道路より低い土地であり、大雨時に冠水する場所がある。三鷹都市計画道路3・4・11は、宅添機の位置で仙川を越えるため、団地の敷地よりも高い位置に整備されると思うので、さらに冠水しやすくなり、災害につながるのではないか心配である。また、トンネルを掘ることで、水脈や水質、湧水への影響があるのではないかと心配である。特に、緑ヶ丘小学校の脇に、水道局の取水所があり、水道水への影響が心配である。

生活環境が悪くなることへの懸念 環境
・三鷹都市計画道路3・4・11が、車の交通量が少なく静かな地域を通ることで、その地域の住環境が大きく変わるのではないかと心配している。吉祥寺通りを外環計画地を利用して迂回させる工夫を検討してほしい。

地域コミュニティ活動の低下の懸念 まち
・三鷹都市計画道路3・4・11が緑ヶ丘団地仙川アパートの真ん中を通り、団地が東西に二分される。自治会が2つに分かれることになると思う。現在4箇所ある集会所は東側にしかなく、利用が不便になることや、連携がとりにくくなるなど地域コミュニティ活動の低下が心配である。
・調布都市計画道路3・4・17により緑ヶ丘団地仙川アパートが分断され、コミュニティ活動が疎遠になることが心配である。ここは、東京都の建替事業指定団地になっているが、住民の反対があり、建替事業が凍結されている。計画では調布都市計画道路3・4・17の東側に従前の住民が入り、西側は再開発用地になる予定である。この事業が進めば、コミュニティ分断の問題は解決すると思うが、事業の進展が見られないことが心配である。

冠水への懸念 安全
・緑ヶ丘団地仙川アパートは、仙川沿いの道路より低い土地であり、大雨時に冠水する場所がある。三鷹都市計画道路3・4・11は、宅添機の位置で仙川を越えるため、団地の敷地よりも高い位置に整備されると思うので、さらに冠水しやすくなり、災害につながるのではないか心配である。また、トンネルを掘ることで、水脈や水質、湧水への影響があるのではないかと心配である。特に、緑ヶ丘小学校の脇に、水道局の取水所があり、水道水への影響が心配である。
・緑ヶ丘団地仙川アパートの敷地は、仙川を挟んだ対岸(仙川駅側の敷地)よりも3m程度低い。仙川を横断する調布都市計画道路3・4・17が、団地の敷地よりも高いところに道路面が整備された場合、雨水などが流れ込むのではないかと心配である。

Eグループ[3/3] 場所を特定できない意見

■交通

周辺道路への車の流入に関する懸念・期待

・東八道路ICは、外環だけでなく中央自動車道の出入口にもなるため、特に甲州街道(国道20号)と行き来する交通量が増えて、この地域の交通が混雑するのではないかと心配である。

■環境

騒音・振動・低周波への懸念

・外環開通後、中央JCT周辺での騒音や振動の発生が心配である。
・大深度地下方式のトンネルを車が走ったときの振動や低周波振動が、身体に影響を及ぼすのではないか心配である。遠くまで影響が及ぶと思うが、どのような評価が行われているのか教えてほしい。

地下水の影響への懸念

・この地域には湧水がある。自宅の井戸の水位は降雨後などで変わり、水脈は常に変化している。外環の整備によって、水脈や湧水に影響が出るのではないか心配である。
・「環境影響評価のあらまし」で、地下水を遮断しない対策として「地下水流動保全工法」が紹介されているが、遮水部を設けても、地域全体の水脈の流れが乱れるのではないかと心配である。この地域の水脈や地下水の状態を、更に詳しく調べてほしい。
・環境影響評価で水循環・地盤沈下の評価結果が示されているが、何も対策をとらない場合、浅層地下水位に影響が出るのは中央JCTの1ヶ所だけであった。このような結果になっているのは、この地点だけでしか評価を行っていないからではないか。外環全線にわたって評価を行っているならば、その評価データを示してほしい。ポイント調査ではなく、より総合的な評価が必要だと思う。また、外環の地下化によって行うシールド工法は、地下に堤防を作るようなものであり、浅層地下水に影響が出るのではないかと心配である。緑ヶ丘小学校近くの取水場にも影響が出るのではないかと心配である。

景観が変わることへの懸念

・インターチェンジができると、周辺に商業施設などが建設されて、この地域の田園風景が一変してしまうのではないかと心配している。

■まちづくり

道路機能の確保に関する懸念

・この地域では、仙川駅や甲州街道(国道20号)を利用して生活している人が多い。それらへつながる道路が、外環や都市計画道路で分断されるのではないかと心配である。

■工事中

工事中の交通・環境・安全性に関する懸念

・工事車両が通ることによる交通問題が心配である。
・環境施設帯は、一度開削してから工事後は埋め戻すとのことなので、いったん土砂を搬出して、また搬入することになると思う。土砂の搬入・搬出時に、工事車両の通行が増えることが心配である。どれくらいの工事車両が出入りするのかを示してほしい。
・工事中の騒音や振動、砂塵が心配である。相生町で採用されたドームカバーの設置など検討してほしい。
・外環の工事では、多くの工事車両が周辺地域に出入りし、生活道路に入り込むのではないかと心配している。工事中の交通安全対策として、三鷹都市計画道路3・4・11などのアクセス道路を外環工事に先立って整備して、工事車両が生活道路に入らないように規制してほしい。また、計画地周辺の住民に迷惑がかからないように、工事車両の通行ルートなどの交通計画を作成し、説明するなどの対策を、行政が指導してほしい。
・工事中の交通安全対策が心配である。三鷹には工事車両専用の出入り口がある。外環の工事の際にも、工事車両専用の出入口を中央自動車等に設置し、工事現場から地域に工事車両が流入しないようにしてはどうか。

■用地補償

移転や補償に関する懸念

・外環の都市計画が大深度地下方式に変更になり、計画地の増減があった。計画地が広がった場所では立退き件数も増えている。今後も計画線が変更になるのではないかと心配である
・計画地にかかって立退きの対象となっている住民は、生活が破壊されるのではないかと心配している。

生産緑地の指定解除に関する懸念

・生産緑地は、外環の事業化の段階で指定解除される。生産緑地の一部が計画地にかかる場合、その減少分で指定要件の500㎡を下回れば、同じく指定解除されてしまう。生産緑地が指定解除されると、それまで優遇されていた税金を過去にさかのぼって支払わなくてはならないので心配だと思う。

■計画検討の進め方

(1)計画検討一般

・三日月地域の課題に対する解決策が明確に示されていない状況で、PI方式の検討会ばかり進んでしまうのは納得できない。

(2)情報提供

・外環全体や周辺のアクセス道路の整備などに関するこれまでの取組みや整備の進捗状況、今後の見通しなどの情報がわからないことが心配である。自治会などを通して、外環の整備などに関する情報の提供や説明会を行ってほしい。
・換気所の予測評価については、2年前に緑ヶ丘小学校であった説明会で出された評価データよりも影響となる数値がずいぶん少なくなっている。換気所の設備が技術的に良くなっているのであれば安心だが、評価手法を変更したり、基礎データなどが前のものと違っているのではないかと心配である。
・大深度地下方式のトンネルを車が走ったときの振動や低周波振動が、身体に影響を及ぼすのではないか心配である。遠くまで影響が及ぶと思うが、どのような評価が行われているのか教えてほしい。
・環境影響評価で水循環・地盤沈下の評価結果が示されているが、何も対策をとらない場合、浅層地下水位に影響が出るのは中央JCTの1ヶ所だけであった。このような結果になっているのは、この地点だけでしか評価を行っていないからではないか。外環全線にわたって評価を行っているならば、その評価データを示してほしい。ポイント調査ではなく、より総合的な評価が必要だと思う。また、外環の地下化によって行うシールド工法は、地下に堤防を作るようなものであり、浅層地下水に影響が出るのではないかと心配である。緑ヶ丘小学校近くの取水場にも影響が出るのではないかと心配である。
・この地域の外環の換気計画では、ジェットファンでトンネル内の空気を換気所へ導くとのことだが、きちんと機能するのか心配である。この換気方式を導入している事例があれば教えてほしい。トンネル内へどこから清浄空気を送り込むか、どの範囲の汚れた空気を導くことができるかなどの詳しい評価を知りたい。結果によって、より効果的な対策も考えられるのではないかと思う。
・外環の排出ガスは、換気所を通して大気に出されるが、中央JCTの擁割部分では、通行する車からそのまま排出ガスが出てくるのが心配である。交通量が予測されているので、排出ガスの量や大気への影響をシミュレーションして、数値データを示してほしい。
・工事の開始時期と終了時期を知りたい。
・環境施設帯は、一度開削してから工事後は埋め戻すとのことなので、いったん土砂を搬出して、また搬入することになると思う。土砂の搬入・搬出時に、工事車両の通行が増えることが心配である。どれくらいの工事車両が出入りするのかを示してほしい。(
・三日月地域は外環の整備による影響が大きいことはわかっているのに、行政から対策案が何も出されないことに、誠意が足りないと感じている。住民説明会などによる情報の提供がなく、腹案を隠しているのではないかと疑ってしまう。行政不信や要らぬ心配を起こしやすいと思う。
・外環の計画地内の生産緑地は、事業の実施に伴って指定解除されるのか。
・換気所の高さは、どのように決めたのか教えてほしい。
・外環の整備により、三日月地域で分断される世帯数はどれくらいか知りたい。
・中央自動車道の沿道などで、近年でも住宅が分譲され続けているが、立退きの対象になるのか知りたい。

■その他

(1)地区検討会の進め方

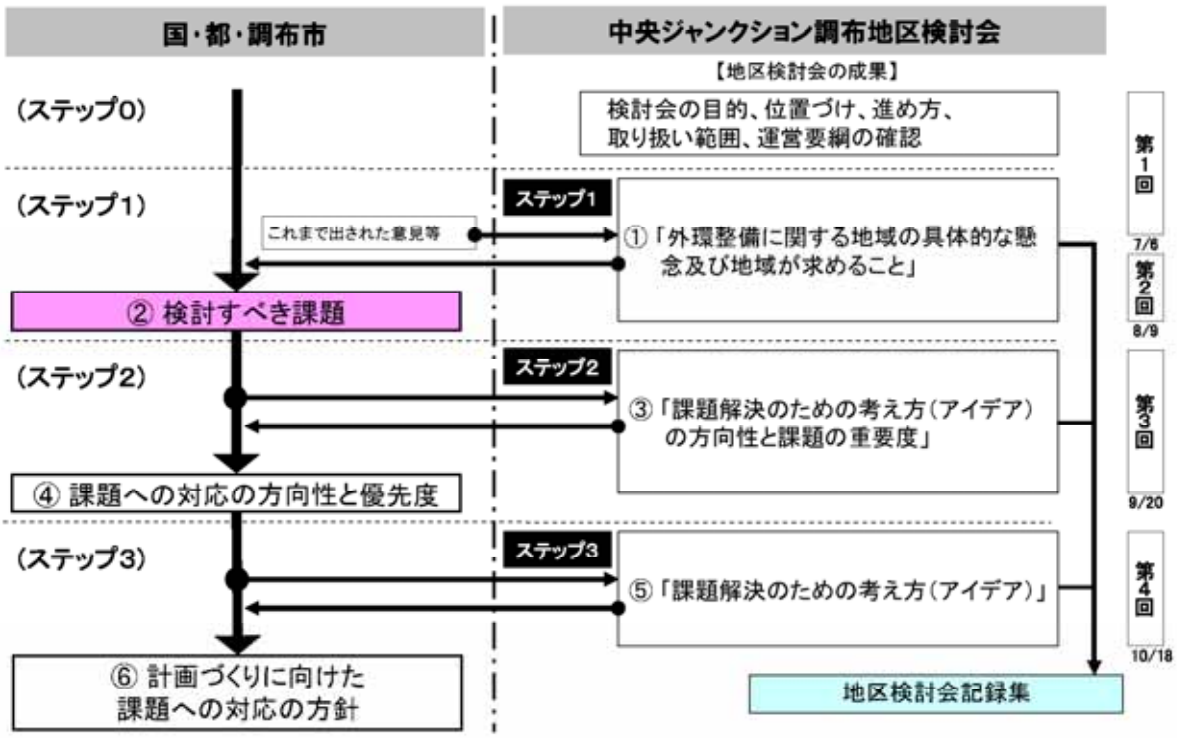
・近所の人と一緒に参加したが、違うグループになった。なぜグループ分けを行うのか。どのようにグループを決めたのか知りたい。このグループのみなさんが、どこからきたのか始めに自己紹介してはどうか。
・中央JCTの計画地は、複数の市区にまたがっている。調布市以外の、他の市区の場所で考えられる懸念も意見として出してよいか。
・第2回検討会では、現地見学が予定されているが、検討会の会場と見学地が離れている。工夫してほしい。
・課題は、第1回検討会で出し尽くしたように思う。今回の検討会では、付箋紙に書かずに、自由に話し合ってもいいのではないか。
・検討会の検討内容を、各回で、課題、解決のための方向性、アイデアと限定すると、内容が前後してしまい抽象的な議論しかできず、具体的な議論ができないのではないかと心配である。

(2)都営住宅に関する意見・質問

・緑ヶ丘団地仙川アパートは、東京都の建替事業指定団地になっているが、一方で、同じ敷地内で駐車場の整備も進められている。駐車場の整備を優先し、建替には着手しないのではないかと心配している。都市計画道路調布3・4・17の整備によるコミュニティ分断に有効となる建替事業の推進に、一貫性がないのではないかと心配している。

【主催者】

検討すべき課題


国・都・調布市
中央ジャンクション調布地区検討会
【地区検討会の成果】
(ステップ0)
検討会の目的、位置づけ、進め方、
取り扱い範囲、運営要綱の確認
(ステップ1)
ステップ1
これまで出された意見等
①「外環整備に関する地域の具体的な懸念及び地域が求めること」
② 検討すべき課題
(ステップ2)
ステップ2
③「課題解決のための考え方(アイデア)の方向性と課題の重要度」
④ 課題への対応の方向性と優先度
(ステップ3)
ステップ3
⑤「課題解決のための考え方(アイデア)」
⑥ 計画づくりに向けた
課題への対応の方針
地区検討会記録集
第1回
7/6
第2回
8/9
第3回
9/20
第4回
10/18

中央ジャンクション調布地区検討会

検討すべき課題

【本資料について】
・この『検討すべき課題』は、中央ジャンクション調布地区検討会においてステップ１の成果としてとりまとめられた『外環整備に関する地域の具体的な懸念及び地域が求めること』を受けて、主催者が整理したものです。
・地区検討会で頂いた懸念や期待について、主催者である国・都・市が、外環事業やまちづくりを検討する上でそれぞれの立場から現時点で認識した内容を示しています。

中央ジャンクション調布地区検討会　主催者

（国土交通省・東京都・調布市）

中央ジャンクション調布地区検討会

『検討すべき課題』　目次

１．交通 …… 1
　(1) 地区交通
　(2) 幹線交通
２．環境 …… 2
　(1) 大気質
　(2) 騒音・振動・低周波音
　(3) 地下水
　(4) 動物・植物・生態系
　(5) 緑の量
　(6) 環境一般
３．まちづくり …… 6
　(1) まちづくり全般
　(2) 地域分断
　(3) 土地利用
４．安全・安心 …… 8
　(1) 交通安全・治安
　(2) 災害･事故時の対応
５．工事中 …… 9
　(1) 工事中の交通への影響
　(2) 工事中の環境への影響
　(3) 工事中の安全性
６．用地・補償 …… 11
７．計画検討の進め方 …… 12
　(1) 計画検討全般
　(2) 意見反映
　(3) 情報の提供

1．交通

(1) 地区交通

【検討すべき課題】

・生活道路を通り抜ける交通が増え、住宅街での渋滞の発生や住環境が悪化するのではないかとの懸念

・生活道路を含めた地域の利便性が向上することへの期待

○関連する意見の例

・外環の整備にあわせて、吉祥寺通りや三鷹都市計画道路 3･4･11 号線の整備も進めないと、生活道路へ進入する通り抜け車両が増加してしまう。

・外環の計画に合わせて、東八道路を計画どおりに完成させないと、周辺の道路で渋滞が発生し、交通利便性が悪くなるとともに、周辺の生活環境が悪化(大気汚染、騒音･振動、交通事故)することが心配である。

・吉祥寺通りに関しては、三鷹都市計画道路3･4･11 号線とつがると、その部分で渋滞が発生して、地域の生活道路の利便性や生活環境が悪くなる。

・工事中の工事車両や、供用後に東八道路 IC を利用する車が、地域の生活道路へ流入することを懸念する。

・三日月地域から中央自動車道の反対側(三鷹市方面)への行き来がしやすいように、外環の整備と合わせて、生活道路網を充実させてほしい。

(2) 幹線交通

【検討すべき課題】

・吉祥寺通りや東八道路、東八道路インターチェンジ周辺などの交通量が増加することによる道路混雑についての懸念

・周辺道路の整備が遅れた場合の交通処理についての懸念

・東八道路を中心とした周辺の道路網を早期に整備し、東八道路インターチェンジへの利便性を確保することへの期待

○関連する意見の例

・外環の周辺道路について、外環の整備後は、現在の交通量に、インターチェンジを利用する車両が加わり、さらに渋滞する。

・吉祥寺通りと三鷹都市計画道路.3･4･11 号線をつなげると、交通量が多くなり、渋滞が発生して交通利便性が悪化することが心配である。

・外環の整備に時間を要するので、周辺の都市計画道路の整備にも時間がかかるのではないか。交通利便性の改善が遅れることが心配である。

・東八道路の延伸整備が、外環の開通に間に合わなかった場合、渋滞が発生するのではないかと心配である。対応策を検討すべきである。

・地域の交通利便性を向上させるために、東八道路の未整備部分を、早く完成させてほしい。

・調布市民などが、東八道路 IC を多く利用して、その整備効果を高めるためには、東八道路 IC にアクセスしやすい地域道路網の形成が重要である。

・外環と甲州街道(国道 20 号)とのアクセスが重要である。両道が直結しないのであれば、甲州街道(国道 20 号)と東八道路 IC 間をスムースに連絡できるように、道路整備を行うことが重要である。

２．環境

(1) 大気質

【検討すべき課題】

・中央ジャンクション、東八道路インターチェンジ、周辺道路及び換気所などから発生する排気ガスによる大気質への影響についての懸念
・換気所の高さや性能についての懸念
・換気所の故障時の対応への懸念

○関連する意見の例

・中央 JCT 周辺の地域は、外環がほとんど地上に出ており、大量の排出ガスが出て、大気汚染がさらに進むのではないかと心配である。
・2 ヶ所の換気所から出る排出ガスの影響によって、持病の喘息が悪化することが心配である。
・外環に 2 箇所設置される料金所での渋滞時に、大量に出る排出ガスによる影響(臭気、健康被害)が心配である。
・ジャンクションやインターチェンジの経路が複雑でアップダウンも激しいため、アクセルを踏む回数が増えて、その分、排出ガスの排出量が多くなるのではないかと心配である。
・外環や周辺の都市計画道路から出る排出ガスの影響によって、特に息子の症状が悪化するのではないと心配である。
・周辺には換気所だけでなく三鷹市環境センター(三鷹市の処理施設)もある。外環と三鷹市環境センターとを総合的に評価した場合の大気汚染など、環境に関する生活への影響を知りたい。
・この地域は崖線など起伏に富んでおり、緑ヶ丘小学校周辺は空気がたまりやすいようで、小学校に通っていた当時は光化学スモッグ注意報が出ていた。特定の地域によっては、環境影響評価で示されている数値よりも、大気が汚染されるのではないかと心配である。
・換気所からの排出ガスは、風がないときにはこの地域の周辺で澱んでしまい、拡散しないのではないかと心配である。

・換気所の高さが、予想していたよりも低かったため、周辺への影響がないように排気できるのかという懸念がある。
・換気所から放出される排出ガスが、生活に悪影響を及ぼす。換気所をつくってほしくはないが、つくるなら高さをもっと高くして、排出ガスが拡散するようにしてほしい。
・換気所の高さが 15mと低く、十分に排気が拡散するのか懸念がある。データ上は十分に排気を拡散でき、景観にも配慮したとのことだが、不安は拭えない。
・外環の換気計画では、ジェットファンでトンネル内の空気を換気所へ導くとのことだが、きちんと機能するのか心配である。

・換気所での排出ガス処理に関する計画や機械の性能が十分であるか不安である。換気所の故障時に、排出ガスによって大気への影響が大きくなる心配がある。

(2) 騒音・振動・低周波音

【検討すべき課題】

- 換気所から発生する騒音や振動、低周波音による影響についての懸念
- 中央ジャンクション周辺地域での騒音や振動による影響についての懸念

○関連する意見の例

・換気所で発生する振動や騒音を心配している。
・換気所で発生する低周波による健康に与える影響を懸念している。換気所が低いとより影響があるのではないか。

・外環の計画に合わせて、東八道路を計画どおりに完成させないと、周辺の道路で渋滞が発生し、交通利便性が悪くなるとともに、周辺の生活環境が悪化(大気汚染、騒音・振動、交通事故)することが心配である。
・緑ヶ丘 1 丁目の中央自動車道の近くに住んでいるが、中央自動車道の車の走行音が気になる。外環が開通したら、騒音の影響が心配である。
・三日月地域には築後 30～40 年の老朽化した家屋が多いため、外環の工事中や開通後の振動による影響が心配である。

(3) 地下水

【検討すべき課題】

- 地下水の変化による地盤沈下についての懸念
- 地下構造物による地下水や湧水への影響についての懸念
- 生活用水や非常用として利用している地下水などへの影響についての懸念

○関連する意見の例

・外環の整備により、仙川の水循環に影響が生じ、地下水が変動することによって、地盤沈下が発生しないか心配である。

・大深度トンネルなどによる地下水への影響を心配している。
・「環境影響評価のあらまし」で、地下水を遮断しない対策として「地下水流動保全工法」が紹介されているが、通水部を設けても、地域全体の水脈の流れが乱れるのではないかと心配である。
・外環の地下化によって行うシールド工法は、地下に堤防を作るようなものであり、浅層地下水に影響が出るのではないかと心配である。
・トンネルを掘ることで、水脈や水質、湧水への影響があるのではないかと心配である。特に、緑ヶ丘小学校の脇に、水道局の取水所があり、水道水への影響が心配である。

・災害時に利用できることになっている白百合女子大学の湧水が枯れてしまわないか心配している。
・この地域には湧水がある。自宅の井戸の水位は降雨後などで変わり、水脈は常に変化している。外環の整備によって、水脈や湧水に影響が出るのではないか心配である。

(4) 動物・植物・生態系

【検討すべき課題】

・地域の植物への影響についての懸念

○関連する意見の例

・緑ヶ丘小学校脇の「みんなの広場」は、金蘭、銀蘭が自生している貴重な場所である。外環の整備や都市計画道路等の変更によって、自生環境に影響が及ばないようにしてほしい。

(5) 緑の量

【検討すべき課題】

・調布都市計画道路３・４・17号線の整備により仙川崖線緑地など地域の緑地が減少しないかとの懸念

・中央ジャンクションや東八道路インターチェンジの環境施設帯の緑地が確保されるのか懸念

○関連する意見の例

・仙川崖線緑地の雑木林は、子供たちにとっても貴重な自然である。その場所に、調布都市計画道路 3･4･17 号線が整備されて、既存の環境が壊されることを心配している。調布都市計画道路 3･4･17 号線の計画を変更して、仙川崖線緑地を保全すべきである。

・ジャンクションやインターチェンジの経路が複雑なので、ランプの合流地点の見通しをよくするために、設計を進める段階で、現在よりも開削部の面積が広くなるのではないかと思う。その場合、排出ガスの漏れ出す量が増えたり、緑地の面積が減ることが心配である。

(6) 環境一般

【検討すべき課題】

・PM2.5など現在の環境基準で定められていない項目に関しての懸念

・環境施設帯など緑地の適切な管理がなされるかに関しての懸念

○関連する意見の例

・換気所からの排出ガスによる大気汚染が心配である。環境影響評価で、世界的な環境基準の PM2.5 が採用されていないことが心配である。

・環境施設帯の緑化後に雑草が生い茂り、住民に草刈りなどの負担が生じることが心配。環境施設帯の植栽は、関係者側で適切に管理してほしい。

3．まちづくり

(1) まちづくり全般

【検討すべき課題】

・地域の人が交流できる憩いの場の創出への期待

○関連する意見の例

・今後は車の交通量が減り、自転車や歩行者の移動を十分に考慮すべき時代である。都市計画道路を整備する際には、自転車・歩行者道(片側 4m)を、できる限り確保してほしい。
・中央自動車道の下には、お祭り等の場にもなるわんぱく児童遊園という場所がある。外環の整備においても、地域に開放されるコミュニティ施設などの設置を期待する。

(2) 地域分断

【検討すべき課題】

・緑ヶ丘地域コミュニティの分断への懸念
・吉祥寺通りが分断されて、歩行者やバスの利便性が低下するのではないかとの懸念。
・三日月地域内の生活道路の機能が確保されるのかとの懸念。
・通学路が分断されるのではないかとの懸念

○関連する意見の例

・外環の整備により、三日月地域を含む緑ヶ丘の自治会は分断されてしまう。
・三日月地域の住民は影響が大きいということはなんとなく理解しているが、具体的な情報は共有できていない。賛成・反対というわけではないが、住民同士で計画内容についての議論があり、その対立がきっかけで人付き合いなどがうまくいかなくなり、引越した人もいるようだ。こういったことでコミュニティ活動が低下するのではと心配である。

・外環や都市計画道路によって、地域が分断されて行き来する機会が少なくなるなど、近所づきあいが疎遠なるのではないかと心配である。また、緑ヶ丘小学校の通学路の交通安全も心配である。
・三日月地域は、地域分断などの問題が発生し、地域に残る人たちの生活が大変になるのではないかと心配である。
・三日月地域内に行き止まりの道路ができると、地区内の移動にも支障が生じるので、行き止まりにならないようにしてほしい。
・仙川沿いの道路、中央自動車道の側道などの日常的に利用している道路がなくなるのではないかと懸念している。
・三日月地域にある自宅からは、自転車で仙川駅に行きにくい。外環が整備されることにより、生活動線が分断され、さらに自転車で移動しにくくなることが心配である。
・都市計画道路の整備により、地域のバス路線が変わらないか心配している。吉祥寺通りのバスルートを、現状のまま残してほしい。
・都市計画道路と既存の生活道路がうまく接続されるのか心配している。
・三日月地域が孤立することに懸念がある。三日月地域が孤立しないように、この地域につながる道を確保してほしい。
・吉祥寺通りは、この地域のメインストリートであり、バス路線にもなっている。この道路が分断されるのが心配である。今までどおりに利用できるように、外環の計画地を利用して、迂回させる工夫を検討し、残るようにしてほしい。
・三日月地域に住んでおり現在の住環境はとてもよい。工事中や外環供用後、仙川駅方面や天神山通り方

面の道路が分断されて通れなくなるのではないかと心配である。

・通学路が分断されることを懸念している。三日月地域から緑ヶ丘小学校への通学路を確保してほしい。

(3) 土地利用

【検討すべき課題】

・東八道路インターチェンジ周辺の開発による土地利用の変化についての懸念

○関連する意見の例

・インターチェンジができると、周辺に商業施設などが建設されて、この地域の田園風景が一変してしまうのではないかと心配している。

4．安全・安心

(1) 交通安全・治安

【検討すべき課題】

・環境施設帯が人目の届かない空間となることによる治安悪化への懸念

・仙川沿いの道路などの生活道路の交通量が増え、交通事故が増加するのではないかとの懸念

○関連する意見の例

・武蔵野狛江線と仙川沿いの道は、ひったくりが発生しており、外環の環境施設帯や側道等において、犯罪が発生することが懸念される。外環の整備にあたっては、防犯に配慮した適切な植樹や街灯の設置を十分に検討してほしい。

・環境施設帯は、無人の広大なオープンスペースである。目の届かない死角ができたり、夜間の防犯、治安の面が心配である。

・外環の整備により、三日月地域の仙川沿いの道路へ流入する通過交通がさらに増加し、危険である。対策を考えてほしい。

・三日月地域では、課題解決の優先順位が非常に重要である。まずは、生活道路への通過交通抑制のために、車の侵入規制など、安心して住める地域にするということである。それが担保された上で、緑等の環境の保全・創出を考えていくのが順序である。安全なくして、環境の保全・創出はありえない。

・外環の整備により、三日月地域の仙川沿いの生活道路への通過交通が更に増加し、危険である。宅急便の車や自家用車のみを通行可能にするなど、三日月地域の住民の安全な生活が補償されるような仕組みを、行政は提案するべきである。

・中央 JCT 周辺の生活道路は、農道のままの狭い道が多い。ここに東八道路 IC へアクセスする車両が入り込んで危険になるのではないか心配である。

・三鷹都市計画道路 3・4・11 号線、調布都市計画道路 3・4・17 号線は、東八道路 IC と甲州街道(国道 20 号)方面を行き来する車の交通量が多くなると思う。緑ヶ丘小学校が近くにあり、交通安全対策について検討されているか心配である。

・本来生活道路であるはずの仙川沿いの道路は、現状でも交通量の多い抜け道となっている。この道が分断されることで通過交通が生活道路に流入し、安全性や治安が損なわれることが心配である。

(2) 災害・事故時の対応

【検討すべき課題】

・トンネル内での火災や地震など災害時の対応や避難方法に関しての懸念

・ランプ合流部における交通の安全性についての懸念

・周辺道路の整備における雨水処理に関する懸念

○関連する意見の例

・トンネル内で車が炎上した場合、煙の換気や周辺への排気はどのように対処されるのか不安に感じる。トンネル内の避難路などの事故対策を示してほしい。

・外環での交通事故などによる火災などの影響(爆発炎上、煙など)が、周辺地区に及ぶことが心配である。

・外環を地下化して、地震時など最悪な事態が生じたときの安全性は確保されているのかが心配である。

・外環のランプの構造は複雑であるため、合流地点等で交通事故が起きる懸念がある。

・緑ヶ丘団地仙川アパートの敷地は、仙川を挟んだ対岸(仙川駅側の敷地)よりも 3m程度低い。仙川を横断する調布都市計画道路 3・4・17 号線が、団地の敷地よりも高いところに道路面が整備された場合、雨水などが流れ込むのではないかと心配である。

５．工事中

(1) 工事中の交通への影響

【検討すべき課題】

・生活道路に工事車両が流入することへの懸念

・三日月地域の生活道路や吉祥寺通りなどの工事期間中の交通機能の確保についての懸念

○関連する意見の例

・中条橋の横の道は、道幅が狭い上、現在でも交通量が多い。工事中は更に交通量が増えて道路の混雑や歩行の安全が心配である。

・外環の工事では、多くの工事車両が周辺地域に出入りし、生活道路に入り込むのではないかと心配している。

・工事中、三日月地域が孤立することを懸念している。仙川沿いの道路に代わる迂回路を確保してほしい。

・工事中に吉祥寺通りが分断されることにより日常生活が不便になるのではないかという懸念がある。迂回路をつくる際に、吉祥寺方面に通じる機能を確保してほしい。

(2) 工事中の環境への影響

【検討すべき課題】

・工事に伴う大気質、騒音・振動、粉塵等による環境への影響に関しての懸念

・工事に伴う日照・通風の影響に関しての懸念

・工事に伴う地盤沈下に関しての懸念

・仙川横断部の施工方法に関しての懸念

○関連する意見の例

・工事期間中に、土砂の搬出のために計画地に出入りするトラックによって、騒音、振動、狭い道での交通事故などが発生することを心配している。

・家のすぐ近くで工事が行われるため、工事の振動、騒音、粉塵に大きな懸念がある。工事期間が長期に渡るのであれば、耐えられないのではないか。

・三日月地域はもともと沼地であったため、地盤が弱いと聞いている。工事が長期間に渡れば、振動などによって家が傾くなどの影響が出てくるのではないかと懸念している。

・工事中の粉塵により、日常生活(洗濯物干し、空気の入れ替えなど)へ悪影響が及ぶ。

・工事車両からの排出ガスによる大気への影響、健康への影響が懸念される。

・中央 JCT の工事中は、外部に騒音や粉塵が漏れないようにするため、三日月地域の周辺に要塞の様に高い塀を建てることになり、日照や風通しに影響が出るのではないかと懸念している。

・三日月地域には、旧仙川の用地が宅地になっている場所があり、地盤が緩い。そのため外環の工事や開通後の振動によって、地盤沈下が発生することが心配である。

・仙川は、地上部分から開削工事をする区域に含まれているため、堰き止められてしまうのではないかと心配である。

(3) 工事中の安全性

【検討すべき課題】

・工事中における通学路や生活道路の安全性の確保についての懸念

・工事の安全対策に関する懸念

○関連する意見の例

・三日月地域から緑ヶ丘小学校までの通学路が外環の工事中に分断されるため、遠回りになり、子供たちが安全に通学できなくなる心配がある。

・緑が丘小学校へは、北野小学校や給田小学校の校区から越境児童も通っている。また、三日月地域は、多くの児童の通学路となっている。このような実態も踏まえ、工事中も含めた通学路の確保と交通安全対策が実施されることを期待する。

・外環の工事車両が、甲州街道(国道 20 号)から生活道路に入り込むと危険である。

・中央 JCT 周辺の生活道路は、農道のままの狭い道が多い。ここに工事車両が入り込んだ場合、安全に歩けなくなるのではないかと心配している。

・外環の工事中に、事故(落盤など)が発生すること懸念している。安全対策をしっかり実施してほしい。

６．用地・補償

【検討すべき課題】

・移転先の確保や補償などへの懸念

・地権者への用地補償についての分かりやすい説明や丁寧な対応がなされるのかとの懸念

○関連する意見の例

・三日月地域は分断されてしまい、進入道路がなくなったり変更されると、資産価値が想像以上に下落するのではないか。

・計画によっては、自宅の処分を検討する必要が出てくるため、三日月地域を含む用地買収などの予定を示してほしい。

・生産緑地は、外環の事業化の段階で指定解除される。生産緑地の一部が計画地にかかる場合、その減少分で指定要件の500㎡を下回れば、同じく指定解除されてしまう。生産緑地が指定解除されると、それまで優遇されていた税金を過去にさかのぼって支払わなくてはならないので心配。

・計画地にかかって立退きの対象となっている住民は、生活が破壊されるのではないかと心配している。

・外環の整備により、三日月地域は分断され、孤立してしまう。充分な話し合い行い、買い上げなどの方策を検討してほしい。

・緑ヶ丘地区は高齢者も多く、今後の移転先や用地補償などの不安を抱えている。行政側の対応は個別対応であり、結果それぞれがひとりで悩んでいる。外環の計画地に関係する高齢者の心のケアが心配である。不安をとりのぞき、精神的に孤立しない工夫をしてほしい。

・三日月地域の高齢者は、この土地で長く生活しており、移転によって新たな環境に入るのは大変な負担となる。一概に、一斉移転がよいとは言い切れないのではないか。

7．計画検討の進め方

(1)計画検討全般

【検討すべき課題】

・人口動向等を踏まえた将来の交通需要に合った計画となっているのかとの懸念
・環境影響に関する調査が不足しているのではないかとの懸念
・三日月地域の課題に真摯に取り組むことへの期待
・外環が早期に整備されることへの期待

○関連する意見の例

・人口減少や原油価格の高騰などを踏まえると、外環の完成時の交通需要予測が、当初の見込みと違っていることが想定される。そのため外環のアクセス道路となる都市計画道路の計画について見直す検討が必要である。
・社会情勢によって、外環や都市計画道路の計画が変化している。

・環境影響調査は、公共地のみで実施しているので信憑性が薄い。事業化する場合は、地域へどのような影響を及ぼすのか、私有地も含めた適切なポイントで、環境に関する調査を実施すべきである。

・三日月地域の課題をどのように解決するかによって、事業の進め方が変わってくる。三日月地域の課題について、真摯に取り組むことを期待する。
・三日月地域では、課題解決の優先順位が非常に重要である。まずは、生活道路への通過交通抑制のために、安心して住める地域にするということである。それが担保された上で、緑等の環境の保全・創出を考えていくのが順序である。

・今後の生活設計のことや年齢的なことを考えると、早期実現を望んでいる。

(2)意見反映

【検討すべき課題】

・地区検討会での意見が計画に反映されるのかとの懸念
・市長の意見書等が尊重されるのかとの懸念
・地域の意見を聴く相談窓口などの設置への期待

○関連する意見の例

・検討会で出された懸念にきちんと対応して、外環および周辺の工事に伴う騒音の削減や、道路の安全の確保のための対応策を検討してほしい。
・検討会で出された意見などについて、何を、いつ、どのように計画へ反映するのかを、具体的に示していくべきである。市民は、今までも具体的な懸念や課題は出しているが、それらがどのように扱われているのかがわからない。

・三日月地域に関する市長の答申の結果を尊重してほしい。

・外環の整備に関する、専用の市民の相談窓口を市役所に設置してほしい。

(3) 情報の提供

【検討すべき課題】

・地域住民への十分な情報提供への期待

○関連する意見の例

・外環を利用中(特にトンネル内)に、事故などが発生した場合の非常時の避難方法などについて、情報を事前に提供してほしい。
・トンネル内の本線とランプの合流部上部の居住者(図面のオレンジ部分)は、土地家屋等の補償対象かどうかが工事方法に左右されるため、不安な生活が続いている。一刻も早く、補償されるのかなど、具体的な対応策を示すべきである。
・生活設計ができないので、外環の事業の開始時期および期間を教えてほしい。
・工事車両の通行は、地域の交通、環境、安全に影響がある。工事車両の経路、1 日あたりの通行台数、駐車場所などを詳細に説明してほしい。
・外環全体や周辺のアクセス道路の整備などに関するこれまでの取組みや整備の進捗状況、今後の見通しなどの情報がわからないことが心配である。自治会などを通して、外環の整備などに関する情報の提供や説明会を行ってほしい。
・40m より浅い部分の地上では、どのような影響が生じるのか気がかりである。